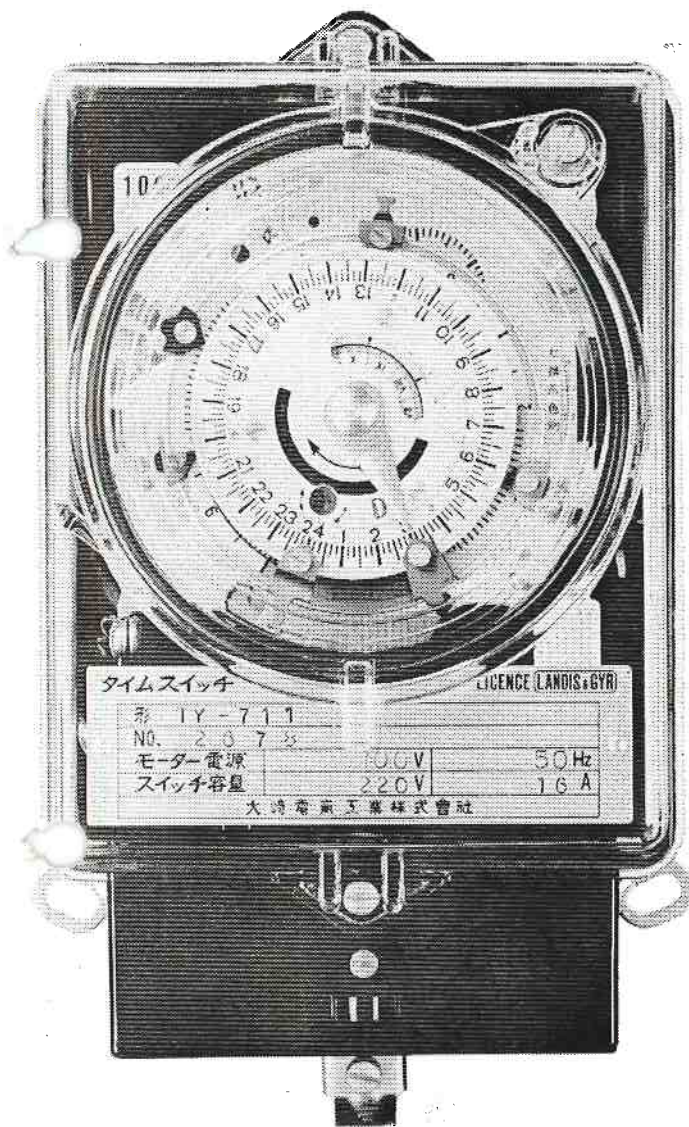


Osaki

タイムスイッチ

TYシリーズ

24時間では足りないあなたに 1日=72時間



大崎タイムスイッチならそれが可能です。
 毎日、毎週、毎月、定時刻に自動的にスイッチを〈入・切〉するあらゆる設備機器や
 年間の日没・日出時刻に応じ、自動的に照明を〈入・切〉する場合に最適です。



大崎電氣工業株式会社

〒141 品川区東五反田2丁目2番7号 TEL.03 (443) 7171番

「ハンドボール」「ハンドボール」「……」と頭をかすめるような現在になったのも考えてみれば、ちょっとした中学時代の経験が縁で病みつきになったと思えるのです。

十数年前、中学生の時「ハンドボール」という競技を初めて知ったのです。私は丁度、野球部に所属していたのですが、即席チームを編成し、異体に出場するというので、運動部選手が起用され、ラニングキャッチ、シュートと、基礎的なことばかりやったのです。今考えれば、中学時代は、無意欲で、ボールをつかみ、力一杯シュートすることで夢中となり、テクニックを得ようなど、とても考えられなかったように思えます。

本格的に「ハンドボール」に取り組み、熱中したのは、社会人となり、会社（武田薬品工業株式会社光工場）に、同好会が出来た時です。

白から入部を願い出て、雨の日、冬の寒い時、小雪のバラつく時、創設以来、ハンドボール部の成長と、自己技術研磨の思いで熱中し頑張っていました。前部長の転勤にもない、二代目「部長」の指命を受け、更に「山口県実業団ハンドボール連盟」の結成となり、理事長の大役を、おおせつかり別の角度から「ハンドボール」を勉強することとできるような

ったのです。このように、ちょっとした縁が今では、私にとって切難せられなく、また未練の残る「ハンドボール」になったのです。さて、「県実連」は、昭和四十六年六月に、山口県にて全国大会（トーナメント大会）が開催され



理事長登壇 ①

山口県実業団連盟理事長
西本 利治
(武田薬品光工場)

ることを機会に結成されたのです。当時は、六社（三井石油、山陽国策パルプ、武田薬品、日本ゼオン、出光徳山、東洋曹達）でしたが、翌年四社（笠戸ドック、サン・アロー化学、山口マツダ、白衛隊・小月）、そして今年二社（日

衛隊・岩国、興亜石油）と年々増加し、「県実連」としては非常に喜ばしいことだと思っています。着実にチーム数が成長しているのは、「ハンドボール」が、企業の、余暇活動として浸とうしていると思うのです。一方で、チーム数の増す割には、活動力に乏しく「県実連」自体の存在価値が、うすれているのではないかと、心配もしているのですが、

発足間もないので要領を得ず、協会にオンブされた形になり、活動力を低下させているように思うのですが、本年より事務局の業務を、ほぼ自主的に運営することができました。更に来季は独自の活動を積極的にすべきなのです。独自の活動が不十分なのは、「企業体」でのクラブ活動であり、「労働が先行する」ということで制約されてしまうのだと考えているのです。「県実連」に加盟しているチームで、ハンドボールを「社技」？

にしてはいる企業はなく、従業員の余暇活動のハンドボール部というケースが全てで、交替勤務、残業等の労働が先行し、充分な練習ができません。レベルはグッと低くなります。かつ優秀な新人が入社しても、二〜三年すると、企業のもつ運動方針と、週休二日制、レジャープームとで、気力を失ない姿を消して行くということもあり残念です。そこで「県実連」チーム

のレベル、アップを計るためには是非次の様なことを試みてみたいのです。(一)企画、調査委員会(仮称)を編成し、実連独自の大会を計画し運営の方向に進めたい。(二)実連チームのレベル低下は、労働先行の為、練習不足と思えるので試合数を増すことでカバーする。即山口県実連リーグ戦を、一、二部に分け、年度初めに、日程、場所を決定し実施する。そしてPRの為に特定地区だけでなく、各地区で開催してゆきたいのです。このことは協会にも当てはまることだと考えるのです。ハンドボールの盛んなのは特定の地区(市)のみです。そこで大会を実施するのは容易ですが、全くハンドボールに縁のない地区では、問題も多いのですが「石の上にも三年」のつもりで、PRのために「ハンドボール大会」を開催すれば、ハンドボール人口も増え、普及になるのではないかと希望をかけています。先輩諸氏に対し恐縮ですが私の所感の一端とします。

本欄は、直接日本協会と結ばれていないローカルな組織団体の理事長に登場していただきます。ここにもこんな理事長が……、読者の推せんを歓迎いたします。編集部に御連絡下さい。

「ハンドボール」

12月号(第115号)目次

理事長登壇①……西本利治……(1)

国体、50年以降の

新案決まる……(2)

全国評議員会・理事会……(4)

世界女子選手権展望……(6)

世界選手権へ臨むに

あたりて……(8)

日韓社会人交流……(14)

韓国遠征に参加して

第25回全日本総合選手権

展望……(19)

全日本学生選手権……(20)

各地の秋季学生リーグ……(24)

各地の記録……(31)

明日への提言……(32)

編集後記……(32)

〔表紙写真〕世界女子選手権日本代表チーム。前列右から古佐原、牧野、小原、米、三毛、垂水、島田、後列右から和田、蔵田、山下、鳥居、高野の12選手(11月17日・代々木公園で。撮影・山田真市)

少年部門、男女で参加数を“回転”

～教員は存続、成年女は狭き門に～

国体(昭和50年以降)の模様替え決まる

明後年(昭和50年)以降の国民体育大会ハンドボール競技の模様替えが正式に決まった。日本体協の国体開催基準要項改訂にともなう日本協会の審議は、24理事が出席した全国理事会(11月11日)で3時間近くわたって行なわれ、大要次のように議決、同日、全国評議員会の承認をうけた。

①日本体協の指示にもとずき男女とも19歳を境に「成年」、「少年」に二分分割、ハンドボール競技は計80チームの参加で行なう。(注、日体協案は成年男32、同女16、少年男16、同女16)

②成年男子の部に、教員の部を設ける。

③男女とも学生(実連登録の有無を問わず「学生」という身分を有するものすべて)の参加は認めない

④1チームの構成は監督1、選手に(GK2、FP10)とする。

⑤少年の男女は、その参加都道府県数を「18」、「10」とし、年度毎に、その数を回転させる。

⑥成年の種別参加都道府県数は成年男子32、成年女子10、教員10とし、年度毎の回転は行なわない。

⑦次の各項目は採りあげない。

イ、成年男女をさらに年令別に細分すること
ロ、実連登録者の参加制限
ハ、ブロックの編成替え

⑧今回の決定は、すべて半恒久的な姿勢とするが、時流などを考りよし、4～5年を一周期とし、再検討、手なおしの機会を設けることもある。

⑨競技は6面のコートを使って日程を消化するが、晴・雨天を問わず2種別は屋内で行なう。

⑩昭和49年の茨城国体(注・ハンドボールは水海道市)は、すべて千葉国体(48年)と同じ要綱で行う。

延々の議論に結着

新方針決定まで
約3時間、前日の常務理事会が約2時間、というよりも28年間の議論が、ようやく、新しい方向を見つけたといった感じでよいだろう。

19歳を境に(例えば昭和50年の三重国体の成年の部参加者は昭和32年4月1日以前出生の者、同少年の部は昭和32年4月2日以降出

生の者、ただし中学生以下は参加できない)成年に分けるとする、日本体協の基本方針については、すでに本誌などでも再三にわたって報道されていたため、特に問題はなかった。

最大の論点は、成年の部に、教員の部、年令細分を採用するかどうかだった。

女子については、両システムともその要なしということで、あっさりまとまったが、男子は大激

論。常務理事会では教員よりも年令別(19～34歳クラスと35歳以上クラス)の新採用を推す声が多かったが、教員存続の意見も根強く、結論をもちこした。

全国理事会でも、はたして意見百出となったが、年令別は見送りのムードが支配的となり、焦点は、教員の部を存続させるか、解消させるかに集った。教員の部を設けるがためのプラス、マイナスについては各理事の発言は、すべ

て異なり、しかもすべてに説得力があったため、收拾にとまどったが、意見の出つくしたところで採決、教員の部設置に賛成者17名が挙手、存続が決まった。

成年の部は男子32チーム

次にもめたのは、80チームの配分である。現行72から8チーム増をみたのは、縮小傾向にある現況下において保坂周助副会長(日体協国体委員長)、荒川清美理事長の努力に負うところが大きいが、常務理事会は、これまでの一般男女、高校男女、教員の数を一部手なおしするだけでは不足という考えから全面的検討を行ない「少年30、成年50」を案としてもちこんだ。

これに対し、理事会では一部の理事から、社会人大会の色彩を強めるため、「少年30」に異論が出るなどしたが、結局、ブロック数との関連から「少年28、成年52」に修正することとなり、さらに少年28を18、10とし、年度毎にその数を入れ替えるいわゆるローテート・システムを採用という新案をも決めた。

難題は、成年52を男、女、教員にどう割るかにあったが、荒川理事長から「日本体協は教員、青年(注・ハンドボールは無関係)などは、これまでの数で行なうのが望ましい」として「との説明

があり、まず教員10が決まった。残り42については「男32、女10」、「男30、女12」、「男24、女18」の3案が出され、少年同ようローテート・システムを探ることの提案もあり再び議論が白熱した。

特に、女子10・12については、日本協会の女子に対する姿勢にも論が及び、意見の対立する場面もしばしばあった。

平行線のまま時間がすぎ、採決となり、最初にローテートについての採決(挙手)を行ない、賛成……9名、反対……12名、(未投票3名)で否決。

つづいて、配分数についての採決(挙手)が行なわれ、

「男30、女12」……4名
「男32、女10」……12名
「男24、女18」……2名

で「男32、女10」が採択された。

この結果、成年に関しては、男子が現行の一般との比で2増、女子が2減、教員が現状維持となった。(未投票6名)

女子の2減については、現行の一般女子(12)が、各ブロック各1、関東、東海のみ各2という変則的な数字で、しかも関東、東海を算出基準にした、という背景があったため、最近では、再検討を望む声が高まり、この機にその空気が大きく張り出したとみてよいだろう。

女子学生も参加認めず

理事会では、このあと具体的な問題に入り、まず「学生の参加」について討議、シャットアウトしている男子については、現状のままよいという声が圧倒的で、採決（拳手）の結果も、現状のまま可……13名
改訂の必要あり……4名
（未投票7名）
逆に、女子については、小さな議論のあと、改訂の必要ありとする意見が、「学生が居なければチーム編成がまだ難しい」「全国に女子の大学チームは16にすぎず、ハンドボール部をもたぬ大学へ進んだ高校OGのために……」といった現状維持論を上廻り、採決（拳手）の結果も、女子の参加を認めない……12名
現状のまま……6名

昭和50年以降の国体種別配分数

	成年男子	成年女子	教員(男)	少年男子		少年女子	
				偶数回	奇数回	偶数回	奇数回
北海道	1	1	1	1	1	1	1
東北	4	1	1	2	1	1	2
関東	6	1	1	2	1	1	2
北信越	3	1	1	2	1	1	2
北海道	3	1	1	2	1	1	2
畿国	5	1	1	2	1	1	2
四国	3	1	1	2	1	1	2
九州	2	1	1	2	1	1	2
開催地	4	1	1	2	1	1	2
計	32	10	10	計28を回転			

（未投票6名）
となつて、学生は、男女とも団体から完全に姿を消すこととなった。

「実連の制限」見送り

みかたによつては、最大の論点と思われた「実連登録者及び実業団単一チームの参加制限」は常務理事会で話し合われ、「国体は現時点ではいざんとして、体育・健康的見地よりも競技力中心の場である」有力選手を辞退させては内容が低下し、地元民に対して競技の本質を十分に理解させ得ない「職種によっては大会参加を制限させるべきではない」などの意見が大勢を占め、当分の間は、現行どおり進むこととした。

各ブロック2、北海道、開催地各1ですんなり。
成年男子はこれまでの一般男子(30)の配分をそのまま動かさず、増加した2について検討、理事長提案の中国、九州に各1増を満場一致で決めた。

このほか、チームの構成数が増え、この選手11(ほかに監督1)という変則から正規の12に改正され、監督、選手の総計は一〇四〇名となり現行より一七六名の増となった。成年男女のユニホームのチーム名は、県名を大書し、企業名をつとめてさけるという昨秋11月の申し合せを確認、プログラムなどからチーム名をはずしてはどうかという提案が、実連選出の横地理事から出て注目された。

また、明年の茨城国体は、すべて、今年までの要綱にしたがって実施されることの確認があった。したがって、女子学生も、明年は一般女子にチーム3名まで参加できる。また、チームの一般男子代表数は2、九州は3のままである。

広範囲になる少年の部

新しい国体のアウトラインはできたものの問題点、未解決の課題は、まだかなりある。

特に、少年の部(男女)は、出席者のほとんどが「高校」という意識を強くもっていたようだが、

新システム後は中学OB(O.G.)クラブでもよいし、中学出の実連選手の参加も当然認められ、A高校とB高校の有志が集ってCクラブといったものを編成することも可能なのだ。

この問題について、荒川理事長は、全国評議員会席上、三浦評議員(高休連)からの質問に「少年は19歳以下であれば、高校、高校生」とらわれない」と答えているが、思想統一をしておかないと混乱が生じそうと、2月に予定される次回の全国理事会で話し合われよう。

少年の部に学生が出場することは認められない。
また、ローテートを少年のみに適用し、成年、教員を素通りさせたことも反省が大きい。
「今回の決定は半恒久的なもの(田村会長)とはしているが、理事会では「一定の期間を経て、理事会で「一定の期間を経て、手なおしできる柔軟性をもたすべきだ」との申し合せを行なっている。」

運営面では屋外4、屋内2の計6面で5日間80試合を消化するが、どの種別を屋内で行なうかは未決定。このほかに雨天会場は準備されなくなったため、第1、第2日あたりで荒天に見舞われた時、屋外の試合をどう処理するか大きな悩みとして残っている。

(杉山)

全日本男子新しい人材で編成 荒川理事 長が発言

日本協会は11月11日・東京渋谷の岸記念体育会館で全国評議事会と臨時全国評議事会を開き、2頁詳報のとおり、昭和50年以降の国体について新方針を打ち出したほか男女の頂点強化について協議、また、来春2月の第9回世界男子選手権アジア予選への参加は、中東政情を慎重に見究めたいと、再考慮するという結論をまとめた。

全国評議事会

▽11月11日午前10時～午後3時15分
▽岸記念体育会館30会議室▽出席 24理事(定数33名以内、現在教30名、成立、欠席6)

全国評議員会

▽11月11日午後3時25分～4時25分▽岸記念体育会館30会議室▽出席 3評議員(定数52名、委任状31計34、成立、無届18)

国体問題とともに、この日最大の焦点とみられた男女頂点強化については、荒川理事長が、基本方針として

①来春の世界選手権アジア予選の派遣選手は12名とし、モントリオール・オリンピック(昭51)へつながらる若手を中心に編成、ミュンヘンオリンピック代表選手は年令、技術を問わず、よほどのことがない限り、再選出しない。

②コーチングスタッフは、監督の北川勇喜氏以外に1名をコーチとして派遣するが、ミュンヘンオリンピック代表選手のなから適任者を選ぶ。

③コーチを複数とするかどうかは北川監督の意向を聞いてきめるが派遣コーチはあくまで②とする。
④女子の強化は、モントリオールまでに、もういちど世界選手権(編集部注・昭和50年下半期、ソビエトで開催予定)があるため、今冬の大会帰国後、改めて2年あるいは3年計画をねりたい。
⑤北川、井両ナショナルチーム監督の任期は、それぞれの世界選手権終了までとする。

不安多いイスラエル遠征

この発言に対して、監督に任期をおくことは是非が論議されたが荒川理事長は、ナショナルチームの基本思潮として、「日本人の個性機能を活かした攻撃、守備(本誌11号既報)を貫けば、監督が仮に交替しても、特に支障はない」との姿勢を改めて強調した。

ミュンヘン代表を再選出しないとする思い切った提案にも、賛否

荒川理事 長が発言

が述べられたが最終的には理事長提案を「原則」とすることにした。ここで特に田村会長が発言を求め

「ゆれ動く中東状況下、日本チームをイスラエルへ派遣することの可否」が問いただされたため、議事は一転、派遣問題となった。

各理事とも、選手団の安全に疑問をもつ一方、辞退・棄権への割り切りがつかず、ともかくも、あらゆる努力をはらって派遣の方針を貫き、事態急変の場合は緊急全国評議事会の招集または文書によって年内に議決することで議論を打ち切った。しかし予測できぬ事態のなかへ、あえて選手を送りこむことに不安を抱くムードはかくせず、第9回世界男子選手権アジア予選の参加は、にわかに微妙な動きをともなうことになった。日本協会では12月の世界女子選手権時に渡欧する渡辺和美IHF理事(日本協会副会長)に、この問題に対するIHFの姿勢、イスラエルの動向の調査を依頼、同氏の帰国を待って、12月中旬、常務評議事会を開く予定である。

選手は選考委員会で

とこで、男子代表選手については、「48年度ナショナル」としてイスラエルへの遠征の有無にかか

わらず荒川理事長はリストアップしたい意向だったが、中止となった時の選手のショック、坐折感を少なくするため、選考の準備だけを進めて、名簿の発表は慎重を期すことにした。

具体的な選考方法は、全国評議事会席上では特に明きらかにされなかったが、前日(11月10日)の月例常務評議事会とこの日の全国評議員会では、荒川理事長から、
①選考委員会を編成し、全日本総合選手権(12月12～16日・東京体育館)後に12名、またはA12、B12の計24名を選考する。
②選考委員会は荒川理事長、北川監督、派遣コーチのほか、8月の月例常務評議事会で選出した渡辺、安藤、光嶋の3常務理事により編成。

③コーチは派遣コーチを含めて荒川理事長、北川監督が話合う。
この三点が発表され、承認しておりこの線で「作業」が進められるだろう。なお、今春編成した全日本ジュニアは、48年度ナショナルが選考された時点で追加、除籍手続きが行なわれる予定だ。

「47年度決算」を承認

財政問題では、全国評議員会で別掲の「昭和47年度決算」が承認されたほか、(注・全国評議事会は6月24日大阪で承認)神田、嶋田両財務担当常務理事から「昭和48年度一般会計修正予算」の説明が

ミカドハンドボール

TRADE MARK



日本ハンドボール協会公認球

ミカド商会

東京・豊島・巢鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592

あり承認、つづいて「昭和49年度予算」については、神田、杉山両常務理事から、収入の頭打ちに比し、最近の物価高で、事務局系経費の支出がふくれあがっており、多少の繰りこし金を見込んで加盟金、登録金を現行どおりとした場合、来年度事業は、現状維持も難しく、縮少の方向に退かざるを得ないという警鐘が鳴らされた。

なお、日本協会が自主運営した日本×ユーゴ第1戦（9月1日、東京体育館）の收支報告が行なわれ、二八七、四一八円の純益が明らかとなった。

入場券の総売り上げは二、〇六五、七一〇円（前売り一、二四〇〇〇円、当日売り八五一、七一〇円）という記録的なもので、本誌の調べは、これはオリンピックアジア予選第3戦日本×韓国1回戦（46年11月18日、大阪市中央体育館）で大阪協会が売りあげた二、一九一、一〇〇円に次ぐ国内二番目の数字である。

代議員制度の検討へ

このほか、今回も全国評議員会の出席者が3名（宮川・茨城、三浦・高体連、田中・学連）と少なく34氏から委任状が寄せられたため改めて「代議員制度」の採用にともなう、日本協会規約の全面的検討がクローズアップされた。

評議員会の閉会を前に、田村会

長、荒川理事長から、規約改正作業に着手する旨述べられ、宮川評議員らも了承した。日本協会では、総務企画部を中心に、来春までに草案を準備することになりそうである。

それにしても、最高議決機関の全国評議員会が、わずか3名の出席では、あまりにも淋しく、まして今回の場合は、午前中の理事会が、熱気にあふれたものであっただけに、よけい、その議場風景が寒々としてみえた。

代議員制度が、はたしてこの低迷を破る突破口となるかどうか、なりゆきを見守りたいが、評議員制度からみれば、「一歩後退」の印象はまぬがれまい。

編集委員リポート

全国会議を傍聴して

全国理事会・評議会を傍聴してみても、その運営方法や内容に疑問が感ぜられた。第一の点は、十分な時間が無いため納得のゆく討議がされていないことである。数時間のうち報告事項が6件、協議事項が10件以上準備されていたが、これではとても満足な討議はできない。執行部の提案を、論議をにつめずに多数決で賛否をとるだけになっていくのが現状である。また一般報告も、執行部からの一方的な「報告」だけで何ら問題点が解明されない印象をうけた。たとえばいろいろの問題を呼

んだ西ドイツ・ラインハウゼンに関する報告も、常務理事会からの「反省点はあったが一応の成果をあげたとみたい」という報告だけで終わってしまった。こら辺に問題がある……。

第二は、ブロック代表や加盟団体代表が自己の利益を主張するあまり、大乗的な見地からの意見が少ないことだ。日本のハンドボール界全体の発展をめざすような建設的な意見が出てもよいのではないか。全国評議員会に至っては、本誌でも再三言われてきているように、全く機能を失った機関である。出席者が3名では話にならない。できるだけ早く規約を改正してこれに代わる機関を作るべきだ。（根城 泰）

昭和47年度一般会計報告

【収入】		(単位円)	
加登才用審判機機協雑テ銀ダ46	金金金料料げ金料料金入げ息職選金	890,000	4,976,000
リニ判判ル協	基あ	1,094,000	2,165,000
一関	ク定査売助	2,406,800	654,820
キス	ク読告	2,500,000	4,071,850
ン行	ク購広	1,142,400	1,888,790
ン度	力收ッ	1,786,361	411,700
年	クルア	30,444	1,184,000
	協	408,200	920,000
	計	23,530,365	
			408,343
			1,143,910
			1,249,169
			452,514
			464,586
			4,962,834
			30,505
			385,343
			142,531
			1,951,800
			277,855
			97,048
			1,452,500
			122,900
			125,000
			866,245
			314,604
			793,330
			792,380
			240,000
			94,255
			1,535,858
			20,903,507
			2,626,858

【一般会計当期剰余金】

日本ハンドボール協会公認

**ゴールドスター
ハンドボール
シューズ**



岡山 釣鐘工業株式会社 東京

デンマークチャンピオン の来日を検討

日本協会は11月11日の全国理事
会で、来年度の事業日程について
協議、本誌既報の東ドイツとの交
流を、日本体協を通じて積極的に
推進することに決めたほか、来日
を要望しているデンマークの昨年
度チャンピオン「IF・スタディ
オン・コペンハーゲン」(男子16
名)を、来春4月招き、各地5
6試合行なうよう準備することに
なった。

また、恒例の日韓交流は学生
(男女)、社会人(男)が来日、高
校(男女)、社会人(女)が遠征の
予定で、48年度事業として残って
いる第4回女子社会人は、来春3
月韓国代表が来日することに内定
した。

実業団サーキット本決り

このほか全国理事会で発表され
た来年度の主な全国大会の日程は
次のとおり。

昭和49年度全国大会

- 学生関係は11月末に決まり、実
連関係は選手権のサーキット化
(別掲)にともない調整中。また、
第3回全国中学生大会は8月、奈
良県下で開催を交渉中である。
- ▽第6回全日本白衛隊選手権 5
月30日～6月2日(予定、東京駒
沢)
- ▽第25回全日本高校選手権 8月
2～7日(北九州市・八幡橋園球
技場)
- ▽第16回全日本教職員選手権 8
月10～13日(四日市市)
- ▽第29回団体ハンドボール 10月
21～25日(水海道市)
- ▽第26回全日本総合選手権 12月
11～15日(東京体育館)
- 「全日本選抜」は解消へ
県案のNHK杯は、本誌既報の
とおり、NHK側の意向をうけて
来年度から国際試合に発展させ、
9月に東ドイツ(男子または女子)

全日本高校優秀選手

		身長(cm)
【男子】	GK	佐々木 哲 (湯 沢) 173
		松下 信宏 (中大附) 172
		牧原 元則 (名城附) 172
	FP	岡野 正則 (小倉西) 171
		村野 勝久 (小倉西) 173
		中村 一郎 (小倉西) 179
		角本 司郎 (小倉西) 182
		鈴木 康正 (名城附) 176
		谷元 一己 (名城附) 166
		加納 英二 (名城附) 173
	由利 裕淳 (湯 沢) 180	
	藤原 裕二 (聖光学工) 180	
	遠藤 恭政 (中大附) 179	
	北野 勝也 (生 駒) 166	
	三谷 俊二 (初 芝) 171	
【女子】	GK	安住 文子 (浦 谷) 163
		敷喜代美 (小松市女) 161
	FP	山際 正美 (小松市女) 164
		貝野 妙子 (小松市女) 158
		左川 順子 (徳 山) 157
		伊藤 典子 (徳 山) 166
		宮田 芳子 (大分東) 151
		紀野 奈々美 (大分東) 166
		穂積 美保子 (浦 谷) 167
		広瀬 美佐子 (水海道二) 161
		新井 弘子 (小諸商) 158
		別府 一子 () 158
		落合 裕美子 (四日市) 155
		魚谷 政子 (甲子園学) 156
		緒方 良子 (熊本市立) 168

日本協合理事長だった
サトウ・ハチロー氏逝く
11月13日午後、東京で心臓発作
のため亡くなられた詩人サトウ・
ハチロー氏(本名、佐藤八郎、70
才)は、日本ハンドボール協会の

を第1候補にして計画、東ドイツ
側との交渉が進まぬ場合は、今冬
の第5回世界女子選手権または来
春の第9回世界男子選手権の上位
国に来日を打診することも申し合
せた。

これらの国際試合がすべて開催
不可能の時は、もう1年、現行の
システムを延長して開けるようN
HK側に交渉することも決めた。

その場合は6月東京の予定。
なお、国際試合化が成った場合
は、「全日本選抜大会」は解消する
ことが正式に決まった。

高校優秀選手決まる

日本協会は、恒例の全国高体連
ハンドボール部推選の今年度全
日本高校優秀選手男女各15名を別
表のように発表した。全国評議員
会・理事会での承認をうけたも
の。

男子の佐藤(中大附、全日本ジュ
ニア)はただ一人2年連続の受賞。
男子の由利(湯沢)、女子の伊
藤(徳山)、広瀬(水海道二)の
3選手は2年生、このほかの27選
手はいずれも3年生。

理事長をつとめられたことのある
かたで「佐藤理事長」を知る関係
者はその逝去を惜しんでいる。
サトウ氏が、日本協会の理事長
をつとめたのは、昭和21年から22
年までの間、在任期間は3～6ヶ
月だった。同氏自身にハンドボー
ル歴はなかったが、第2次大戦直
後、復興を目指す日本協会は、第
3代会長に式場隆三郎氏(故人)
を推したい、同会長の縁故でサトウ
氏が就かれたもの、という。

戦前の日本協会は専務理事制を
採っており、理事長というポスト
はサトウ氏が「初代」であった。
ユーモア、明るさのなかに哀歎
を織りこみ独自の作風で知られた
サトウ氏はスポーツ好きで、特に
プロ野球ファンとしては高名だっ
たが、日本ハンドボール協会の理
事長をつとめたことを知る人は極
めて少ない。

心から御い福を祈りたい。

◆日本協会参与・外山准二(東京
協会副会長)氏の話 戦後ハンド
ボール協会の復活と同時に報道関
係の有力者に後援願おうという動
きが強まり、当時東京タイムスの
社長であったサトウさんを会長に迎
え、その縁で、サトウさんが理事
長として推せんされた。復員した
OBもまだ少なく、知名度のある
かただったのでお願いしたように
記憶している。

'73

(株)三景は企業の繁栄を通じて
より豊かな生活、
より明るい社会を創造する。

繊維専門商社 株式会社 三景



グループ本部 東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

(株)北越三景 (株)東京三景 (株)甲商三景 (株)大阪甲商三景

(株)サンレディ (株)サンワード (株)サンライン

スポーツの技術史

近代日本のスポーツ技術の歩み

新刊



菊判・656頁・上製函入
定価2500円

東京教育大学教授 岸野雄三 編
東京教育大学助教授 多和健雄

●近代スポーツの歩みを技術史的にとらえた日本における近代スポーツの歩みを、技術史的な視点からたどり、各スポーツ種目ごとの発展の概要をのべたユニークなスポーツ史である。各種スポーツの意味を技術史的に吟味し、それを通じて、人間とスポーツとの文化史的な深さを追求したもので、体育・スポーツ関係者の格好の教養書である。

【収録種目】①体操 ②陸上競技 ③競泳
④柔道 ⑤剣道 ⑥レスリング ⑦バスケットボール ⑧ハンドボール ⑨バレーボール
⑩サッカー ⑪ラグビー ⑫野球 ⑬テニス
⑭卓球 ⑮バドミントン

写真と図解による
ハンドボール
荒川清美・石井喜八著
ようやく国際的水準に到達したハンドボール競技の普及向上に骨身を惜しまず尽力されている著者が、長い間の研究成果を独自の撮影技術により豊富に写真により解説した待望の技術書。
A5判一四〇頁 定価五〇〇円

大修館書店 〒101 東京・神田錦町3-24 振替/東京40504 電294・2221 大代表

第5回 世界女子選手権 近づく

日本代表 元気に出発

第5回世界女子選手権が近づいて来た。12月8日から15日までユーゴの主要8都市で開かれるこの大会は、モントリオール・オリンピック(昭51)での女子初採用が、确实視されているとあって、かつてない高まりを示し、国際女子スポーツ界における「ハンドボールの位置」を確立するものと期待がかけられている。

参加国はエントリー-19ヶ国のうちIHF推せんの5ヶ国と各大陸代表7ヶ国の計12ヶ国。(これまでの4回はいずれも9ヶ国の参加で行なわれていた)アジア代表として4度目の出場を果たす日本(田村団長、井監督ら15人)は、オランダ国際トーナメント(11月23~26日)など前哨戦を経てユーゴ入りするため、すでに11月19日夜元気に羽田を飛び立っている。大会の展望と、選手団の抱負を特集した。

第5回世界女子選手権日程

▼予選リーグB組(ザビドビッチ・スポーツコート)			
12月8日(土)	18.00	日本-ルーマニア	
12月9日(日)	18.00	日本-ノルウェー	
12月10日(月)	18.00	ルーマニア-ノルウェー	
▽予選リーグA組(サラジェボ)			
ハンガリー-チエコ, チエコ-西ドイツ			
西ドイツ-ハンガリー			
▽予選リーグC組(シバニック)			
東ドイツ-ソビエト, ソビエト-ポーランド			
ポーランド-東ドイツ			
▽予選リーグD組(パラスデザイン)			
ユーゴ-ギニア, ギニア-デンマーク			
デンマーク-ユーゴ(ギニア棄権の場合オランダ)			
▼準決勝リーグ1組(ネゴティンスポーツホール)			
12月12日(水)	18.00	A組1位-B組2位	2位
	19.00	B組1位-A組2位	2位
12月13日(木)	18.00	B組2位-A組2位	2位
	19.00	B組1位-A組1位	1位
▽準決勝リーグ2組(ザグレブ)			
C組1位-D組2位 D組1位-C組2位			
C組2位-D組2位 C組1位-D組1位			
▼9~12位決定リーグ(南ノビ市スポーツホール)			
12月12日(水)	} 予選リーグ各組3位によるリーグ戦(試合時間未定)		
12月13日(木)			
12月14日(金)			
▼順位決定戦(12月15日・土・ベオグラードスポーツパレス)			
10.00	5, 6位決定戦	1組3位-2組3位	3位
11.00	3, 4位決定戦	1組2位-2組2位	2位
17.30	7, 8位決定戦	1組4位-2組4位	4位
18.30	決勝	1組1位-2組1位	1位

日本、手の内知った相手

★大会を展望する★

大会は、出場12ヶ国を3ヶ国づつ4組に分けて予選リーグ、各組の上位2ヶ国が準決勝リーグに進む日本の目標は、この準決勝リーグへ勝ちあがることだ。

予選(B組)の相手はルーマニア、ノルウェー。まったく勝手のわからなかった前回とはちがいが、今回は代表選手のうち7選手が連続出場。しかも、ルーマニア、ノルウェーとは対戦の経験があり、ノルウェーとは本番で12-12と引き分けた。勝利をじゆうぶん期待できる。ただ、今シーズンはノルウェーの方があがり、ルーマニア

がやや低調という情報で、いささかのがしほりにくい。

その点では、オランダ国際トーナメントの相手が、西ドイツからノルウェーに代ったのは好都合である。こちらの手の内もさらけ出したことになるが、本番での対戦までに時間もあがり、対策をたてられよう。2点差ながら勝った自信も大きい。ルーマニアの不振は、一説にはモントリオールを目指して、メンバーをすべて若手に切り替えたからともいわれるが、はたしてどうか。

井監督は「今季の成績をそのまゝうのみにできない」と警戒。今夏7月のユーゴ国際でノルウェーとルーマニアは対戦しており

16-12でノルウェーが勝っているが東欧諸国のここの一番における強さは定評あるところだ。

日本にとって、男女とも東欧圏というのはどうも苦手だ。方と技、そして巧妙な反則への誘いこみ……。

コーチングスタッフは、やはりノルウェー戦に焦点をあて、ルーマニア戦では、なるべく失点を少なくする策戦で臨むのではないかと。ノルウェーの進境が本ものだとすれば「三すくみ」も考えられる。このほかのグループではC組が首位争いに影響するほどのビッグチーム揃い。2連覇を目指す東ドイツは、男子が母国で世界選手権

(来春2月)を開き、初優勝の絶好機だけに、女子もタイトルを守り抜いて「男女優勝」を飾りたいだろう。最大のダークホースはソビエト、ここで東ドイツを破れば初優勝有望。

同じ野望はD組のユーゴにもあつる。女子は前回(昭46)、前々回(昭40)と2回つづけて準優勝、今回は地元での開催、自信があつてのことだ。男子(今秋来日)の金メダルと並べたいところである。第1回優勝のチエコ、第3回優勝のハンガリーそれに西ドイツによるA組は、西ドイツの不利はまぬがれない。この組の勝者は、日本が進出すれば準決勝リーグでぶつかると

日本ハンドボール協会公認球

シムレスハンドボール

- パスワークのさえ
- オーソドックスなデザイン
- ハンドリングのよさ

TACHIKARA タチカラ株式会社



監督 井 薫

オランダで行なわれた第4回大会からはや2年、この時の大会の経験と反省から、今回、まずルーマニア及びノルウェーと顔合せする予選リーグを勝ち抜くためにはディフェンスの強化特に長身者によるポストプレーからの得点とその場面から生じる7MTの犠牲を最少限に封じることがあるといっても過言ではないと思います。

もちろん、ルーマニアは左腕アーギール、ノルウェーには1m87のカーレンというゲッター

世界選手権への抱負

出発を目前にして今年一月に始まったナショナルチーム合宿から数回の強化合宿で選ばれた選手十二名、よく頑張ったと思う。しかし長い海外遠征での十二名はどうしても人数不足である。今さらーとお叱りを受けるかも知れないがそれだけが心残である。

背が小さいハンディを袖うにはスピード以外にないと信ずる、体の大きい外人を相手する場合7人が力の合った組織力を發揮出来てこそ勝利がある。

コーチ 鈴木義男

がおり、彼女らのロングシュートに對しての備えもおろそかには出来ませんが、データからみても、ポストからの失点を少なくすることが先決だと判断しています。

そのためには絶え間ないフットワークでポストへのパス段階でつぶすこと。更にポストマンを全くの正面から、逆に全くの背面に置いて、徹底的にマークする事だと思っています。然し、防衛のみの強化では勝つ事には直接つながりません。攻撃に於ては、やはりこれ迄の数多い遠征を通しての、日本の武器である、速攻を中心に、展開する心算です。只この速攻の中継

我々はこれまでの合宿で日本の持味でもあるスピードなプレーとコンビを徹底して練習して来た本大会の前哨戦であるオランダの国際大会、フランス、ユーゴの親善ゲームなどは勝敗を意識せず個人技主体等の「作戦的ゲーム」も考へられる。

親善ゲームで日本チームの全部を見せたいと苦戦しては話にならないからだ。本大会では上位リーグへ進むのが目標である。

前回出場者7人を軸にして、計算出来る得点が望める若手選手の噛み合いは万全であり、我々が選手

のパスが長身の相手チームだけに、日本式では通りにくい事と、ボールを完全に握り、長いローリングからの攻撃を得意とする相手だけに、数少ないチャンス

を有効にポイントして行くつもりでなければいけないと思えます。今回は経験者が七名、新人が五名となりますが、経験豊富なベテランの働きは勿論、若手の鳥居、高野、山下のフレッシュユトリオには「突進」のみを命じて、走りまくってもらおうつもりです。私も又、前回の体験を生かし、持てる力をフルに發揮出来る様、頑張る決意です。

のコンディション調整に誤らなにかぎり上位入賞は不可能ではないと信ずる。コーチとしての重責を痛感し、オリンピックを含む前回までの遠征された先達諸氏の教訓、忠告を胸に秘めて御期待にそえる様一戦一戦執念を持って頑張りたいと思います。

前哨戦、上々のスタート
【速報】 全日本女子は、11月24日オランダナショナルを16-10、25日ノルウェーを14-12で連破した。両試合はオランダ国際トーナメントとして行われたもの。

日本、苦しい？準決勝リーグ
日本が宿願の準決勝進出を果たしたとすると、ハンガリー、チェコが新たな相手。

どちらも優勝候補。ハンガリーにはトリス、フレックという黄金コンビが健在だ。どの試合も二人で得点の8割近くをたたきだす。チェコもいちいちほどのすごみはないがパスワーク、マテソワ、ブルノワ、ツエーマノワ粒が揃っている。両国とも力と技を兼ね備え、主力は男まさりの強引さがある。日本の苦戦はまぬがれまい。得意のゆさぶりと、ディフェンスの健闘があっても、どちらか一国を押し切るだけで、相当のゲームスタミナが必要になって来る。

ゆずらぬ東独、ユーゴ
一方の組はユーゴ、東ドイツ、ソビエトの激突。ここを切り抜けた国がおそらく優勝を飾るのではないかと。東ドイツは、前回のエース・ホクムイスの名を今シーズンにはあまり見かけず、代ってリヒターというアタッカーが活躍しているようだ。このほかクレツシュマー、カーント、ブラウン、GKツーパーが元氣なプレーをつづけ、ゲールホフの進境もあって、攻撃陣の厚味は、前回をしのぐと評判である。

地元のエューゴは、すでにナショナル入りして13年目になるというGKイストバノビッチが相変らず頑張っている（光島国際担当常務理事の話）ほかトルティ、パレザノビッチ、バラベルザらで一歩も引かぬ構えだ。ユーゴ×東ドイツ戦は世界女子史上、特筆すべき大試合になるのではなかるか。

残り1ヶ国はデンマークだろう日本同よう、東欧圏を破るだけのたくましさがあるか疑問。マドセン、リース、ラゲルボーンらとともにA・ニールセンが今シーズンも主戦メンバーに名を連ねているのは驚異。彼女の世界選手権へのデビューは11年前の第2回大会で、この時、沢田、磯部、宇井、西村らの全日本と対戦している。

結局、優勝争いは、今回も東ドイツ、ユーゴ、ハンガリーの3強にソビエトがからむ展開となる。日本には6位の希望をかけておこう。

- 日本代表チーム (杉山 茂)
- デ(電) デ(電) デ(電) 重(重) 紡(紡) サ(サ)
 - 洋(洋) 崎(崎) 洋(洋) 洋(洋) 京(京) 村(村) ラ(ラ)
 - 大(大) 大(大) 大(大) 大(大) 東(東) 東(東) 田(田)
 - 正(正) 義(義) 名(名) 祥(祥) 秀(秀) 美(美) 夏(夏) 照(照) 美(美) 涼(涼) 直(直) 君(君) 晴(晴)
 - 村(村) 木(木) 原(原) 水(水) 田(田) 田(田) 下(下) 野(野) 原(原) 毛(毛) 居(居) 野(野)
 - 田(田) 井(井) 鈴(鈴) 小(小) 和(和) 華(華) 米(米) 島(島) 威(威) 山(山) 佐(佐) 三(三) 島(島) 高(高)

- 長(長) 官(官) コ(コ) G(G) K(K)
- ▽ F P

世界選手権で勝つために……

小原名苗

12名の新メンバーによる数回の強化合宿も終え、いよいよ出発する事になりました。今回の特徴は、12名のメンバー中前回の選手権大会を経験した人が、7名もいる事と若手の伸びざかりの人が元氣いっぱいな事で、これは本当に心強い事です。予選リーグの相手もルーミア、ノルウェーと決定してしまして未知の不安はありません。前回の体験からくる反省点はポストブレイヤーに7MTをとられない事につきまますのでその点に充分気をつけたいと思います。本大会での外国チームの真剣さ、強引さはふだんでは想像も出来ないくらいきびしいもので、私達もこの気力の面では絶対負けられないと思います。日本の武器は速攻で、普通日本ではGKからのボール出しとデフェンスからのカットを速攻のきっかけにしています。が、ボールをにぎり完全ノーマークまで攻撃してくる外国チームに對しては、気力と体力を消耗してしまい、そのあとでは充分な速攻での得点は期待出来ないと思いますのでGKの立場として、積極的デフェンスからの速攻の糸口をつかむ事をねらいたいと考えて

牧野涼子

国際試合と言うものは何と言っても経験というか、場を踏まなければならぬと思います。この事は過去に於いても再三物語られ、立証されてきました。日本は何と言っても条件が悪いのです。然しそれを私達ハンドボール人は、克服しなければなりません。決して外国選手に對して技術的、体力的におとつてとは思えません。前回オランダには行なわれた時の出

再び世界選手権へ臨むにあたりて

主将 垂水秀代

前回の世界選手権大会より早くも二年を迎え様としていますが再びこうして出発の原稿を書く様な事になるうとは思ってもいなかっただけに光栄と思うと同時に責任の重さを改めて感じています。前回と比べ経験者も数多く居り外人

場選手も七名残っており数回における合宿によってまともにも見え、チームワークについては心配はくり返したくないと考えております。キャリアの有るブレイヤーと若手のシャープなブレイヤーとがミックスできれば他の国と対戦しても負ける事はないでしょう。後は精神的なものだと思っております。「精神力・根性と言うものは言語で示されるものではなくコートの上でこそ表現されるもの」と村田弘先生がいつだかの「ハンドボール」誌に書いておられたのを思い出し、まったくその通りだと思えます。勝利意欲を持って鍛え抜いた練習の成果を十二分に發揮出来ますよう頑張つて参ります。そして今後のハンドボール界のためにも……(FP、東京重機工業、連続出場)

米 恵美子

昨年十二月オランダに於て開かれた第四回世界選手権大会は最下位という不本位な成績に終り目標達成できないまま帰国し、あれから二年が過ぎ、短かい期間に再び出場できることが、うそのように感じられます。今回の組み合せはルーミア、ノルウェーが日本のブロックに決定し、幸にルーミアとは前回の遠征で八日間の合宿を消化し、ルーミアナショナルチームとも親善試合を交えており、更にノルウェーとは順位決定で顔を合せる等、全く未知の相手ではなくそれ故にやり易い同時にむづかしい面があります。両チームに限らず前回の遠征で特に感じた事は体格差によるボールテクニックのうまさか日本とは、はるかに違うことです。日本のディフェンスを大きくゆさぶるバスワーク

るだけに今回はバスの入る前の動き、どこにポストマンを置くかと言ふ事が問題になると思っています。バスワーク以前に早く相手の動きを読み常にフットワークでどの様なブレイにもついでいける様心がけておく事が必要だと思います。今回は前回の苦い経験を基に又自分の力を思いきり發揮出来る様世界選手権大会に臨みたいと思ひます。(FP、大洋デパート、連続出場)

はサイドやポストへの得点に直接結びつくブレイに繋がり、また体格差を利用されポストやサイドからの7mスローを誘発する強引なブレイ等は私達の敗因の中の最大のものだろうと思ひます。再びこれらの失敗をくり返さない為にもポストブレイに對する執拗な守りと重点的にディフェンスに比重を置き守りに徹しなければならぬと思ひます。また攻めに於ては日本人特有の素早い攻撃と日本の持ち味である速攻を中心し得点を重ねていかななくてはならないと思ひます。前回果す事のできなかった予選リーグを勝ち抜き決勝リーグへの進出を是非ともかえたい一念です。最後に再び全日本ナショナルチームの一員として大会に臨めることを光栄に思うと共に自分の立場と責務を十分認識し全員のハンドボール関係者の方々の願いが私達十二名に託されていることを忘れず期待にそえるよう一生懸命頑張つてきたいと決意しています。(FP、大洋デパート、連続出場)

古佐原ひろ子

2年前、世界選手権に出場し、世界一流の女子ブレイヤーに接し、勝負に對する厳しさと凄まじいばかりのブレイを体験しました。特に一戦一戦勝ち進み実力が伯仲すればするほど、高度なブレイの中

に故意的に平気で反則を使い、試合の勝敗を支配するという共産圏各国の試合ぶりには驚ろかされたものです。云いすぎになるかも知れませんが彼女らは勝つ為には、手段を選ばないとさえ思えます。数回の練習マッチでは日本のプレーは十分に通用しました。回を重ねる事に日本でゲームしてる様に見える事なのですがとさとなると外国チームは別の力を出すのです。前回の選手権でそのような経験をつんだのは意義深く、勉強になりました。今回再び世界選手権に出場できる事はほんとうに光栄です。まず初めに、予選リーグはどんな事しても勝ち準決勝リーグでもなるとか頑張りなさい。予選リーグであたるルーマニアはポストから7MTを狙うプレーを巧く使え、ノルウェーは長身のロングシューターが多い。日本のディフェンスが少しでも悪いと、いくら得点してもダメだ。失点を最少限に食い止める事が鍵です。オフシーズンは走りながらのプレーを忘れてはいけぬ。いろいろ書きましたが結局勝たなければならぬ。日本代表として恥じない様、最善の努力をしてきたいと思えます。(FP、東京重機工業、連続出場)

島田夏枝

二年前オランダで開かれました

世界選手権大会の予選リーグで、西ドイツとデンマークに善戦しながらも最後に7MTで振切られ上位リーグに進出出来ませんでした。その帰りデンマークの選手と同じバスに乗り一緒に「上を向いて歩こう」を唱いながら泣くに泣けなかったあのあじめな気分。「この次には必ず！」と心に誓ったその日がついに昨日のように思い出されます。

三毛直子

世界選手権への出場。ハンドボールをしている人であれば誰でも一度は出場してみたい世界の検舞台。このような大会に二度も参加することは無上の光栄であると共に重責感で一杯です。

世界選手権代表に選ばれて

和田祥子

力を注ぎ本大会では他国選手に負けない精神力と気迫をもち、自分の持っている力を十二分に発揮し、精一杯頑張ります。(FP、大洋デパート、連続出場)

世界選手権への出場。ハンドボールをしている人であれば誰でも一度は出場してみたい世界の検舞台。このような大会に二度も参加することは無上の光栄であると共に重責感で一杯です。

世界選手権代表に選ばれて

和田祥子

昨年の大会は初めての人達ばかりで自分の持っている力を充分に発揮することができませんでした。今度こそはと全員が一丸となつて張り切っています。幸い今回は監督をはじめ選手7名が海外遠征経験者ですので何かと心強く感じます。選手権までにはオランダにおいて行われる招待トーナメントに参加し、オランダ、ノルウェーの人達と手合せする事になっていきます。この試合において少しでも外人コンプレックスを解消し、色々勉強して大会に望みたいと思えます。この大会後ユーゴに移動しユーゴナショナルと公開試合を行なう予定ですが、ユーゴは今回の優勝候補であり得るものは多いと思えます。本番での世界選手権(予選リーグB組)で対戦するルーマニア、ノルウェーとは前回親善試合及び選手権で顔を合わせて

日本代表選手の中に私が選ばれたことは、ただ幸運であつたか、と思えません。そんな私が、世界選手権に行つて、何をしようとか、何をしようなどという、はつきりした目標はまだとて、つかめていません。ただ、私を含めた多くのハンドボールプレーヤー、またハンドボール愛好者やファンが常にあこがれている本場のハンドボールに、じかにこの自分がふれることが出来るということを考えて、安易な気持ちで行つてこれないと思うので、やはり今回の遠征で私は何かをつかんでこなくては行けない

に、大切なことだと思えます。また、私は、ゴールキーパーとして特に外国の技術をあらゆる面から勉強してくるつもりです。そして私が吸収したことを、まず自分のチームに還元していきたいと思えます。私一人の力は小さなものですが、でも十二名の力を合わせたならきっと何か出来ると思えます。最後に、私にこうした荣誉が与えられたのは、私一人の力ではなく、たくさんの方たちのお教えや、お叱り、そして励ましがあつたからと思ひ、今はその方たちに感謝する気持ちでいっぱいです。(GK、大崎電気工業、初出場)

ものがありません。特にコーチのガブリエルさんには日本の難点とするデフェンスを指導していただき、色々と得るものがありました。デフェンスがよければ攻撃もリズムに乗ってくるということを感じて痛切に感じました。今度こそ自分の力を存分に発揮して悔いのないプレーをし皆様のご期待にそうよう最善を尽くしたいと思います。(FP、田村紡、連続出場)

蔵田照美

中学三年の時クラスマッチで教

わったハンドボールのおもしろさにとりつかれて以来、八年間ボールを追っかける事に夢中でここまで来ました。そして今、全日本のメンバーに選ばれ世界選手権に出場出来る事が、自分自身夢のようにまったく幸運の一言に尽きません。ここまで育てて下さった諸先生、先輩方に心からお礼を申し上げます。

現在の心境は時間が経つにつれて責任感と喜びとがいつそう強いものになって来ますが、選ばれた以上ナショナルプレイヤーとして恥かしくない様自分に与えられた立場をよく理解し、責任とプライドをもって頑張る覚悟です。

国際試合経験の少ない私にとってメンバーの半分が前回の世界選手権出場経験のある先輩達なので、心強いのが何よりです。

今度の遠征には自分なりに期待もあります。

それは、海外で初めて対戦する外人相手に自分のプレイがどれほど通用するかと言う事です。

そして、本場のプレイを直接自分の目で見、出来ればそのプレイを少しでも自分のプレイのプラスにしたいと思っています。

本大会まで残された日々も数えるほどになりました。この残された期間を大切に自分がチームのレギュラーになった頃のがむしやらな日々を思い出し原点にもどって

最善の努力を尽し勝つと言う気遣いと精神力とで何としてでも勝利へ結びつけたいと思っています。(FP、大洋デパート、初出場)

山下恵美子

ハンドボールをめざす者にとつては大きな夢である世界選手権大会、その全日本代表の一員として選ばれた事は、私にとって思いもかけない事でした。

以来、全ての面で未熟な私は、三度の合宿で、自分なりに懸命に取り組み、頑張ったつもりです。

この期になって思う事は、自分に課せられた使命をやりとげる事——の一言です。

ベテラン先輩のテクニクやリードで、私は自分のプレイを精一杯やって、少しでも役に立ちたい。一人一人の個性をフルに發揮し合ったら、素晴らしいチームプレイが生まれる、私もその通りだと思っています。

外国のプレイヤーに比べ体格、体力面ではまだまだ劣る日本チームが勝つ為には、やはり日本人ならではのプレイ、小廻りやのきく早い動き、個性あふれるプレイをすべきだと思っています。

そして本場のハンドボールを自分の目で見て学べるのですから、このチャンスを大いに生かして、少しでも多く新しいプレイを勉強し覚えて来たいと思います。

今は、その新しいものへの期待でいっぱいです。

とにかく私は、自分の置かれてある立場というものを再認識して、最善を尽くしたいと思っています。(FP、大洋デパート、初出場)

鳥舌君子

今回の世界選手権代表選手に選ばれ、出発の日が近づいた訳ですが、まだ夢のように実感が湧きません。

一年前にナショナルチームの一員に選ばれ、高校時代から憧れていたナショナルプレイヤーの方々と一緒に練習でき、先輩方の個性あるプレイの中で、技術面、精神面において自分なりに勉強させられ、大変得る事が数多くありました。

国際試合の経験のない私には、私達よりはるかに背の高い外人選手がプレイが日本人のプレイと、どの様に異なり又私達のプレイがどのくらい通用するのか、想像もつきません。

しかし日本代表なので、その名譽に恥じない様、合宿時や先輩達より習得した自分の全てのプレイをハンドボールの本場で十分發揮してみたいとファイトを燃やしています。そして世界選手権で日本ハンドボール界の名を高める為少しでもお役に立てる様

がんばり、又世界最高の技術や、試合運びを、この目でしっかりと見て、今後の日本のハンドボール界の為に勉強してきたいと思っています。(FP、ブラザー工業、初出場)

高野晴子

この度私が、栄光の代表に選ばれた事は、高校の諸先生、それに、会社の皆様の暖かい御支援助と、チームメイトの協力のお陰であり、このチャンスを与えて下さった事に、感謝致します。

これから世界選手権に行くにあたって、早く全日本のカラーにとけ込み、自分の持ち味を精一杯發揮出来る様に、努力、精進したいと、思っています。

選抜チームの場合、チームプレイ「和」等は、非常に、難しいと言われていますが、より以上のチームプレイで、その中の先輩達に負けない気迫で、ついて行きたいと思えます。そして全日本選手としてのプライドに、自分の素行を、直して行きたいと思えます。

今回の代表者の中に、世界選手権を、前回に経験された方々が多いのは心強いことです。この方々の意見を生かして、本場のハンドボールに関する多くの事を、学んで来たいと思えます。(FP、日本ビクター、初出場)

関東一円をネットする…ワイドサービスチェーン

医薬品全般
高級化粧品

株式会社 日進商会 * 日進チェーン本部 横浜



HONDA の 5文字は世界を走る!!

次から次と独創的な製品を発表し、つねに世界に話題を提供するホンダ「世界に類のないものを創ろう!」このホンダイズムから生まれる魅力ある製品は海外150ヵ国の人々に愛され「技術のホンダ」「世界のホンダ」として高い信頼を得ています。

CIVIC



本田技研工業(株)鈴鹿製作所

三重県鈴鹿市平田町1007 TEL 0593-78-1212(代)

若い実連

貴重な体験

(1勝1敗3敗)

日韓男子社会人交流

第3回日韓男子社会人交流は全日本実業団ジュニア選抜(山田稔団長ら役員4、選手14)が遠征して10月27日から11月3日(5日帰国)まで、韓国4市で5試合が行なわれた。

ベストメンパーを揃えた韓国各チームに対して、若い実連は苦しい試合を強いられ、結局、1勝1分3敗の成績で終わった。通算成績は日本側の15戦9勝1分5敗。

再度の停電(中断)にペー ス失なう

第1戦・全慶北大との試合は10月27日午後4時から大邱の慶北体育館で行なわれた。審判金鳳堂、(ほか1名の氏名未詳)

全慶北大 16 (10-5) 13
全日本実業団ジュニア選抜

得003008300020000
北吉瑛甲允深寅錫鎮根甫王
慶永永永相英京正東永永容輝
徐権朴韓金朴李朱金権李李

得0064102000000
【西市佐柳佐辺坂布酒若岩田
得0064102000000
(※印はOB)

○……慶北は立ちあがり2分ロングシュートのリバウンドを拾い金永鎮が先制点をあげた。このあと突然の停電で試合は15分間中断、このあいだに若い日本は落ちつくかと思えたが、ええってペースを乱し再開後もシュートミスが多く15

第3戦・高麗セメントとの試合は10月31日午後4時から光州の朝鮮大学校球技場で行なわれた。

全日本実業団 12 (8-4) 12
高麗セメント 12 (4-8) 12
引き分け (審判名不明)

得0020001161010
敏善王明喆春用云善椿奉雨
高呂義泰基鶴佑判章永 洪良
【金姜高梁全李赴秋崔金徐李

得00200111005020
【西市柳布佐吉酒若佐田岩辺

○……一万五千の観衆がコートをとりにかこみ、日本の各選手は緊張気味。

序盤の得点機はGK金の好守につぶされたが、相手のスカイプレーの連続ミスからチャンスをつかみ、佐々木、岩本、柳川らで得点着実にリードを奪った。

ところが、後半になって、メンバーを若手主体としてから動きが単調となり、ディフェンスも組織プレーに欠けて秋らの攻撃にゴールを割られた。25分を過ぎ佐藤、佐々木の得点で12-11、そのまま逃げ切るとみえたが、高麗は終了10秒前、秋のゲットで同点、引き分けにもちこんだ。

日本各選手のキヤリア不足が痛感させられた。高麗も得意のスカイプレーがこの日は不調だった。

高麗セメントの反撃許す

日本は第1戦よりディフェンスがよくなり、攻めても速攻、セッ

釜山旅客にせり勝つ

第2戦・釜山旅客自動車との試合は10月29日午後4時から釜山の九徳体育館(32×20m)で行なわれた

全日本実業団 14 (6-5) 13
釜山旅客自動車 13 (8-8) 13
自動車 (審判名不明)

○……釜山旅客自動車は昨秋来日したチーム。

日本は第1戦よりディフェンスがよくなり、攻めても速攻、セッ

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使はれて居る!
セッター



サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341) 2979・1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746

春の全日本学生(男女)につづく今シーズン二度目の韓国遠征でしたが、学生同よう各地で盛大な歓迎をうけたことをまず御報告します。我々の側にいたしましても今回の一つである実業団連盟所属チームの若い選手達に日々の技術の錬磨に励むことよって国際試合で活躍出来るチャンスがあるという目標と自信を与えたことは前実連理事長田中滋章氏の意図された事の実現と云う意味で大きな成果をあげ得たものと確実しています。

さて、韓国ハンドボール界の現況に接して国民学校(日本の小学校)と中学校の生徒のハンドボールに対する関心の深さと前座試合に見せた彼らの素晴らしいプレーが強く印象に残り、近い将来日本の脅威となることを感じさせた。もう一つは大邱の慶北体育館である。東京体育館にまけない様なフロアと観覧席をもった立派な施設である。完成後日も浅いこともあるが今後国際試合を十分出来る設備のある体育館が韓国に実現したことはアジアのハンドボール界に大きな作用をするものとみてよいだらう。

稔 山田 団長 韓国遠征に想う

今回のスケジュールは大邱—釜山—光州と韓国を一周するもので地方ではあまり国際試合の経験がない為に特に関心が強く連日一万人を越す大観衆が集まりその歓迎ぶりはものすごいものがあつた。このほか、日本チームが企業所属の選手であることから高麗セメントの工場見学を行程に加えて呉れたり、全成均館大等の様に大会運営の全てがO・B(卒業生)の手で行なわれていたこと、全慶熙戦(11月2日、ソウル)が鄭国際審判員の現役引退を記念する大会であつたこと、最終戦は会場の国技院体育館が始めての球技の国際試合であることから記念にペナントを寄贈したこと等が特に印象に残つた。そして、韓国遠征のチームで今回の如くソウル近郊以外の地方を転戦する時は先方は地元協会長(その地方の有力者)をはじめ大学総長、実業界、政界のトップクラスの方々が多数試合会場並びにレセプションに出席されるので団長はじめ役員はあらかじめ礼を失せない程度の社交術を必得ておかねばならないことを今後の参考にして戴き度いと思います。(全日本実連副理事長)

全慶熙、多彩な攻撃示す

第4戦・全慶熙大との試合は11月2日午後4時からソウル運動場(屋外)で「鄭鎮圭国際審判員現役引退記念試合」として行なわれた。審判員鄭鎮圭・李甫恩

全日本実連ジュニア選抜

得点 0 0 0 1 1 0 0 3 7 5 0 1 7
 求永範 甲南忠 会泳 沫愚 煥秋
 高錦 致鍾 鍾在 業允 性在 德晚
 慶高 錦致 鍾鍾 在業 允性 在德 晚
 黄李 黄朴 李柳 金金 金韓 呉金
 ※※※※※

GK { 川牧 藤木 川本 中口 施見 井本
 FP { 市西 佐佐 柳若 田坂 布辺 酒岩
 得点 0 0 5 6 3 1 0 3 0 0 1 0
 ※印はO・B)

○……閉会式が中止されたり、コートが滑りやすかったり、日本にとつてもう一つ意気が盛りあがらない。

慶熙は新人・金晩秋(178cm)が序盤鋭い動きから得点、その後は金允洙が活躍するなどして15分には6-3。日本も20分に一度1点差まで追撃したが、慶熙は守りを固めて日本の反撃をたち後半になると、サイド、ポストから矢次早やにゴールを奪い、15分には21-9と大勢を決してしまつた。

慶熙攻撃陣の多彩さに比べ日本は、自分の型がなく、ゴールに対する執着心にも欠けて、終盤わずかに点差を詰めたものの勝利にはほど遠かった。

強豪・成均館と激戦

第5戦(最終戦)・全成均館大との試合は11月3日午後4時からソウルの国技院体育館(30×19m)で行なわれた。審判員朴千祥、金昌勲

全日本実連ジュニア選抜

得点 0 0 4 8 8 8 2 0 0 4 0 0 1
 均年 放福 憲七 吉述 仁鎮 祥烈 鍾
 成永 正聖 成鍾 虎正 錫掬 建泰 和
 金姜 車金 李金 孟宋 崔李 孫姜
 ※※※※※

GK { 牧川 木藤 川中 口田 施井 本本
 FP { 西市 佐佐 柳田 坂吉 布西 岩岩
 得点 0 0 9 6 3 1 2 1 0 0 1 0
 ※印はO・B)

○……韓国1位、5人のナショナルプレイヤーをもつ相手に対し、日本はディフェンスの好調もあって善戦、敗れたとはいえ悔いのないゲームであつた。

日本は韓国の誇る車(金成憲)のコンピを徹底的にマーク、車は一応おさえたもののサイドから浮いたり、ゴールエリアの空間でボールを持ちかえたりする金の絶妙な個人技と車からのパスをアシストとする李鍾七の攻撃を防ぎ切れず、10分7-3、20分9-5とリードを許した。

しかし日本も後半、佐々木、柳川、佐藤で反撃、ディフェンスの立ちなおりもあって21分21-22まで追いあげる闘志をみせた。一瞬一退のあと残り3分に勝負がかかったが、成均館は28分金成憲、29分崔で26-22、日本の攻撃を29分51秒の1点におさえて勝つた。

なお、会場の国技院は大韓空手協会などによって最近建てられた「格技・武道用体育館」である。

韓国は実業団チームがいぜんとして少なく、社会人球界はOBたちの情熱にささえられている。この大会の運営、金策などの話を聞くと、私の現役時代を思い出さずにはいられなかった。

しかし、実力のはらは着実に向上しており、新旧交替から若い有力選手の抬頭が印象づけられた。

2年前のオリンピッククアアジア予選の韓国代表には3人の高校生を含む5人のティーンエイジャーが居たが、いずれも今回対戦した各チームの主力に成長、特に金成憲(東亜高—成均館大、180cm)はますますその技が冴えている。このほか金晩秋、金英洙、金性洙、金允洙、李鍾七といった精鋭がつづいており、日本との「距離」ははしだいにせはめられる感じをうけた

後記 竹野 奉 昭

韓国遠征 (日韓男子 社会人交流) に参加して

総務役員 横地宇吉

実業団連盟懸案のジュニアチームを結成し選抜チームとして、初めて国際試合を行なったことは、今後の実業団チームの発展に対して大きな影響をあたえるものと思えます。

今まで男子社会人日韓交流はいずれも単独チームの交流であったが、今回は全国の実業団各チームより推選された人々を合宿に参加させ、日本ハンドボール界(実業団連盟所属)の国際経験豊かな、指導者による合宿練習、そして、その中より選抜された人々による外国遠征で選手個人個人の横のつながり、強いてはチームのつながりが合宿及び遠征で出来、今後の生長が楽しみである。

近い外国ではあるが言葉の違う国へ遠征し日本実業団の代表としてお互に協力し合って試合を行なったことは、勝負を抜きにして社会人としてよき経験を踏んだものと思えます。

今後、いろいろ問題はあると思いますが、隣国である韓国とはお互に刺激しながら東洋の特色あるハンドボールを作り上げるべく交流を榮んに発展させる必要があるろう

と思います(全日本実業団理事長)

コーチ兼選手 佐藤要二

若いジュニアプレイヤーにとって、他国での試合レセプション―移動―観光という強行日程はそれだけで大いに学んだものがあつたと思う。

その中でコンディショニングく「優秀な選手」といえる。

卒直にいて、今回は若いチームだけにわずかなことから(例えば微妙な判定、ルール解釈の小さな違い)リズムをくずし、そのままだ自分たちのペースを一度も握れずに試合を終ってしまうことが多かった。

ジュニアの皆さんに要望するところは、自分がハンドボールに青春を賭けているというプライドをもって欲しいというところ。

それが、相手の攻撃を守りぬく力、1回1回の攻撃を確実にゴールに結びつけていくチーム力につながると思う。このほか、考えるハンドボールをすること、基礎トレーニングを十分に積んで走力、筋力、腕力などをつけて欲しいことなどをこれからの日々目標に置いて欲しい。

FP 布施雅夫

国内でのライバルとともに遠征楽しい10日間でした。彼らも僕も自分のチームに戻れば、どちらかといえばまだ影にかくれたプレイヤーだ。今頃また影がうすくなっているのではないかなどと遠征の思い出に重なりあわせて思っています。

ところで、私自身を含め今回のメンバーはすべて勉強することばかり、それだけに佐藤さんや佐々木さんなどナショナルのメンバーと一緒にプレーができたことは幸運に思います。

韓国では苦しい試合の連続、でも、私は自分のチームでは得られない多くの「何か」を得ることができました。遠征仲間との再会を楽しみにするとともに、今後もこのような内容の遠征や今宿の企画をお願いしたいと思います。

FP 酒井 進

各試合を通じて自分の持ち味を出してプレーができたかは、もちろん、試合中における各選手のよさを学ぶことができたか、試合中の集中心力など反省の多い遠征でした。

今回の遠征で試合のペースはどちらにあるのか、試合全体の流れのなかでいかに射ち、いかにパスし、いかに守るかということの難

しさ、深さを再確認させられた思いです。

そうした技術的な面とともに、私の場合、下関中央時代、ソウル、東京と二度にわたって日韓高校に出場しており、その時対戦したメンバーに再会することができたのは嬉しいことでした。

彼らが駅頭まで迎えに来てくれたのには戸まどいましたが、同世代、同じスポーツに生きる友だちと、高校時代とはまた異なったムードで会え、市内見物に案内していただいたり楽しい思い出を得ました。これを機会に文通する約束もしましたし、来年は彼らが来日すると聞き、今からその日を楽しみにしています。

また、日韓両国のナショナルプレイヤーとゲームできたのもよい思い出となりました。

FP 岩本宏道

韓国は日本以上にスポーツ熱が高い、というのが私のもっとも大きな印象です。それだけに施設もすばらしく、管理も行きとどいていました。

わずかな空き地を見つけては、バドミントン、サッカーを楽しんでいる姿を多く見かけました。競技場は、格技の盛んなこともあり、円形に設計され、ハンドボールの正規のコートを取ることではできません。速攻もきかず、セット

の得点のみにかなり常に点差を詰めておかねばなりません。韓国気質の「勝たねばならない」という意識は観衆にまで行届いており、高麗セメント戦では一万五千の大歓声コートに向けられました。韓国チームの一点は日本チームの二点にも三点にもなってはね返って来るような感じで国際親善でなくては味わえない尊い経験をできました。又食事についてくる韓国の漬物キムチがこんなに辛いものとは知りませんでした。味付もニンニク入りが多く口になじみませんでした。一日に一食は、洋食、中華料理、日本食のどれかができるの助かりました。

FP 若本 修

来年の日本での交流にも、私はいま十九歳ですからできればまた参加したいと思えます。

高麗セメントの選手たちのあたたかい見送りをうけた光州駅での「別れ」は、今回の遠征中思い出に残ることの一つであった。言葉もわからずただ手を振るだけ、そうしている内に汽車はうごきだしたが彼らも、僕らも駅をかなりはなれるまで手をふっていた。その後、なにかしらないがうれしくなり韓国にきてよかったと思った。

首都ソウルでは韓国を代表する全慶熙、全成均館と2試合。韓国ナショナルはこの両チームの選手

訪韓「実連ジュニア」選手団名簿

▽団長	山田 稔	全日本実連副理事長
▽監督	竹野 奉昭	全日本実連理事
▽総務	横地 宇吉	全日本実連副理事長
	岡部 正文	全日本実連副理事長
▽コーチ兼選手	佐藤 要二 (24才)	本田技研鈴鹿 180cm) ⑩
▽選手	年令	cm
GK	西牧 健二 (21)	三木 景 (175) ・
	市川 孝夫 (20)	田田 技研 鈴鹿 (175) ・
FP	新実 俊夫 (23)	田田 技研 鈴鹿 (180) ・
	佐々木 健一 (24)	本木 三 景 (170) ⑦
	辺見 伸人 (22)	日本 鋼管 福山 (180) ・
	酒井 進 (22)	武田 鋼製 品光 (175) ②
	吉田 義憲 (21)	日新 永 業 (176) ③
	田中 佈次郎 (20)	湧 菱 三 製 (170) ①
	岩木 広道 (19)	三 菱 製 鋼 (174) ②
	若木 修夫 (19)	神 戸 製 鋼 (175) ③
	柳川 雅夫 (19)	同 製 鋼 (178) ⑩
	坂口 健二 (19)	大 崎 ラル 電 (168) ⑦

○内数字は遠征通算得点 (5試合)

ではほとんど組まれているという強豪だった。

歓迎してくれた韓国協会のためにもよい試合をしたと思ったが慶熙戦の前半はディフェンスの横の連絡がとれず、一人一人がばらばらでどうしようもなくなっている間に、相手の攻撃を受け前半で4点リードされた。ハーフの時選手同士が話し合い、後半にはいい

だが後半も、サイドシュートや手首をつかったロングシュートなどで6点を入れられ、相手のベースにまきこまれた。日本も中盤から守りが立ちなおり速攻も決まっ

取っての第三戦、朝鮮体育大学グ

て追いあげムードになったが、時すでに遅く敗れた。

両国の親善という面では多くの成果や、僕自身得るところが沢山あったが、試合は1勝1分3敗と勝ちこせずに残りである。

FP 吉田義憲

青い梅山に囲まれて、美しく映える釜山の町並を後にして八時間の長距離列車に乗って着いた光州の地。私は、田舎に来たと同時に、光州の人達と一番深く接する事が出来たと思います。

国際試合を初めて経験する私に

ランドにて、行なわれたこの試合も、私は自分の力を出す事なく終った。結果は引き分けた。

その夜、相手選手と再会、意志が通じないまま酒を交わす形と成った。言葉が違うため、手まねだけの応対、笑っては首をかき上げる事しきり、そうした中で私は楽しい時間を過ごす事が出来た。朝晩冷え込むこの地で、帰宅途中であつたろう各選手が、話の通じない私達と、最後まで心よく応対してく

れた事が私は深く脳裏に残っています。

どの街角でも、一生懸命働く少年達に接し韓国状況のきびしさを体験した私は、光州で、二三の人達では有ったが、人情味溢れる人々に接する事が出来、私はこの地を去るに当って一生忘れることのない思い出の一ページを飾る事が出来ました。

最後に私は、このチームに合流して、常に自分の力を発揮出来なかった事を、今後の課題として対処していくと思います。

FP 坂口健二

初めての遠征で、なにかと不安であつた今回の遠征も無事終えることができた。

韓国の気候は日本とほとんど変わりなく、朝夕は冷え込み、日中は、ポカポカとしていた。食事は辛口の僕でさえ、顔をしかめるく

らい辛く、無理して食べたのが良かったのか、病気もせず元気に過ごせた。

商店街や街並は、日本に比べたらなにか古く感じ、そして商店街や街並を見ると、まだあどけさの残る少年達が新聞を売り、靴を磨く姿が多く見られ、胸をしめつけられる思いであつた。予定の五試合の成績は、一勝三敗一分けと満足のいく試合ではなかった。各人の技術や精神力も不足していたし、日本の審判と韓国の審判では反則に対する解釈が少しではある

が異なっていたのでとまどつた事とも、もうひとつ、合宿期間があまりにも、短かすぎて、コンピネーションプレーが、うまくいかなかった事も敗因であると思う。しかし最終戦の対全成均館大の時は、チームが一つのボールに集中して、まとまつた事はたいへんうれしく、負けても悔いは残らなかつた。

そして全試合を通じて失点が多かつた事は、これからの課題は、ディフェンス力をつける事がいちばん大切であり、強いチームになる条件だと思ふ。これから各選手は各チームに帰るが、この遠征を生かし、もっともっと、うまい選手、強い日本を目指してお互いがんばらう。

【日韓社会人交流特集は本号で完結。(編集部)】

省力化に貢献する

工業ファスナーのコンサルタント



大阪市浪速区元町2丁目108番地 電話 (大阪) 06-632-2241 (代表)

合織糸・合織混紡糸



田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17
TEL 0593-65-2156(代表)
郵便番号 512

4冠目前の大岡製鋼有力 男子

12日から全日本総合選手権

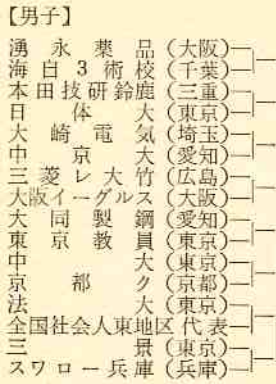
女子は重機中心に混戦か

（編集部）

今年の日本チャンピオンチームを決める第25回全日本総合選手権は12月12日から16日まで（開会式は11日・休協）東京体育館に男子16、女子12のトップチームを集めて行なわれる。

男子は、来春の第9回世界選手権アジア予選（2月、イスラエル）の代表選手選考を兼ね、女子も各チームの主力が、オランダの第5回世界選手権（本誌8頁参照）へ遠征しているとはいえ、若手の充実が目立っており、最高峰の大会にふさわしい好内容が期待される。

予選トーナメント組み合わせ



決勝リーグ日程

- 12月14日（金）15.00～19.50
- 12月15日（土）13.00～17.50
- 12月16日（日）12.30～17.25
- （NHK総合テレビ16日15.35～17.30）
- 各日第1試合は女子の4位決定リーグ

どうからむ本田技研、法政

男子（参加16チームを4チームづつ4組に分け予選リーグ、各組勝者で決勝リーグ）、今シーズンNHK杯（6月）、全日本実業団（7月）、国体（10月）の3大タイトルを掌中にした大岡製鋼（愛知）が優勝最短距離。中井が復調し花輪、松原ら今が絶頂期の好選手を擁し、藤中、野田、加藤のベテランも健在だ。攻め口の多彩さ、激しい動きの守りは国際級といえる。GK柳川兄も固い。

2連勝を狙う湧水薬品（大阪）や大崎電気（埼玉）は、安定感と試合運びの巧みでは大岡に劣らぬ

現代ハンドボールに不可欠なことを示してくれた。技巧に流れるがあまり力強さのうすれている最近

が一気に勢いにのるといった魅力が最近欠けている。むしろ波乱の目となり得るのは上り坂の本田技研鈴鹿（三重）、学生チャンピオンの法政、中央（ともに東京）あたりだ。予選の湧水―本田は激戦となるろう。

このほか大阪イーグルス（大阪）三景、日体大（ともに東京）、中大（愛知）らがスキのない布陣で決勝リーグ進出を狙っており、白衛隊1位の海自第3術科校（千葉）やスワロー兵庫、三菱レ大竹（広島）のまとまりも軽視できないものがある。

ユーゴの好影響を期待

優勝争いとは別に、ユーゴ来日の影響が、どう反映するか興味だ。

ユーゴは速さと守りの強さが、現代ハンドボールに不可欠なことを示してくれた。技巧に流れるがあまり力強さのうすれている最近

中学生以下は無料招待

日本協会は12月12日からの第25回全日本総合選手権に中学生、小学生、スポーツ少年団員を無料（招待券制）とすることに決めた。なお、入場料は高校生200円（ただし、12、13日は100円）、一般300円、通し券500円。

の国内だけに、トップチームを集めたこの大会では、是非、迫力に満ちた「スピードプレー」の応酬を待望したい。

抜け出すか、日本ビクター

女子（参加12チームを4チームづつ3組に分け予選リーグ、各組勝者で決勝リーグ、各組2位で4位決定リーグ）、主力6人を欧州へ送った大洋デパート（熊本）が欠場したほか、前年優勝の東京重機（東京）も牧野、古佐原の働き手が全日本に加わったため攻撃力に不安を残す。日本ビクター（茨城）、田村紡（三重）、ブラザー工業（愛知）は、エースをとられていたが比較的まとまった陣容で、特に日本ビクターは好機だ。

注目されるのは、小粒ながら高校ばなれたチームブレーを見せる小松市女（石川）、着実に力を伸ばして来た日立栃木。大崎電気（埼玉）も復調したし、波にのれば日体大（東京）も侮れず混戦模様である。

純競技仕様

＝すぐれた機能は美しい＝

デサント製品はすべて本格派の名にはじない「純競技仕様」……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

《本格派》

デサント
スポーツ服装

- ハンドボール ●ベースボール
- ゴルフ ●スイミング ●スキー

THE BEST
for typical sportsmen

original by
DESCENTE

スポーツ服装専門メーカー
株式会社 デサント

法政、中央破り初の王座に

全日本学生選手権

第16回(女子第9回)全日本学生選手権は11月20日から24日まで東京・駒沢屋内球技場(第1・2

日は駒沢体育館併用)に全国8学連推せんの男子32、女子14校が参加して行なわれた。

男子は、序盤からビッグカードが組まれ波乱ぶくみと予想されたが、はたしてベストエイトを前に早稲田が中京に敗れたほか、大阪経大、大阪体大、九州産大らの有力校が次々と姿を消し6連勝日指す日体も準決勝で中央に屈した。結局法政×中央という関東学生秋季2位同士の対決から法政がみごとなチームプレーで中央を押しまくり初優勝、関東学生春季につづく栄冠を手にした。

大会史上最高の14校を集めた女子も独逸同土が激しく星をつぶしあった末、日体×東京教大が優勝を争い日体が多彩な攻撃で、粘る東教大を破り4年連続8度目の優勝を飾った。

早稲田、中京に敗れる波乱

それ以後の大体大の攻撃を1点に封じるとともに、26、29分にも得点を加え押し切った。

男 子

○……早稲田×同志社も伯仲の試合であった。早稲田は同志社のスローペースに苦しみながらも前半20分3-0とリードした。しかし動きに鋭さを欠き追加点があげられず逆に入江、大庭らの巧技にゴールを奪われ、後半2分40秒には3-3と追いつかれた。

▽1回戦

早稲田らしさが出たのは8分脇若、8分菊池とたたみかけた時だけ。これでどうにか優位に立ち、逃げこんだ。同志社は巧く相手の動きをおさえながら、かんじんの攻撃力が早稲田のディフェンを崩せず、特に前半20分間無得点の貧攻はたたった。

名 城、九州産大に逆転勝ち

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

法政、大体大をかわす

○……優勝候補の一番手・早稲田が中京に逆転負けする大波乱があった。先手は中京がとり12分3-1、早稲田は16分脇若のゲットを口火に20分までに4ゴールして5-3「関東1位」の貫録じゅうぶんだった。ところが、中京はよく粘り

岐阜大 (東海) 20

20分5-4と法政リードのあと大体大は26分中村、27分坂本で3度目の先行、いったん同点にされたが、28分40秒福永のゲットで前半を終えた。

東京学芸大 (関東) 19

○……感星同土・名城×九州産大は九産大が中馬の好技で押し気味だったが、後半は名城がディフェンスを固めるとともにチャンス

中央 (関東) 33

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

大阪経大 (関西) 24

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

早稲田 (関東) 10

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

8から杉山、森、田中がたてつづけに得点、一気に主導権を奪い返して勝った。

○……岐阜大×福岡大もなかなか面白かった。4たび同点の6-6から福大は木原、荒井で10-7、後半すぐに1点を加えて4点差とした時はそのままのペースかと思えたが、岐大は5分以後立ちなおり、石黒(忠)の活躍などで15分13-13。福大は20分すぎ再び先行したが、岐大も追いついて延長となった。延長後1-1(18-18)から、岐大は後半2、4分石黒(忠)が殊勲の2点をあげた。

○……日大×北大は北大が前半15分から連続得点して2点差をつけたが、日大は後半10分12-12として突きはなした。東京学芸大×京大は互角の戦況だったが、学芸大は前半25分すぎ内記、樋口で優位に立ち、後半も順調に加点した。

東京教大×広島修道大は前半20分まではせりあったが、教大はハーフタイム直前にあげた2点が大きく後半に余裕を生んだ。修道は後半20分から激しく追いあげたが、いささか運きに失した。

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

○……中央は上村、大熊の二人が前半10点をあげる好プレーをみせ、日体は食い下ろうとする福井大を23分間完封するなどしてともに快勝、大阪経大も芝工大からあつという間に6点をもぎとる速攻

▽2回戦

日 体	22	(1210)	11	度 応
明 治	23	(1310)	11	甲 南
東京学芸大	19	(109)	13	岐 阜 大
中 央	11	(65)	10	大 阪 経 大
中 京	13	(94)	9	早 稲 田
名 城	27	(1215)	7	関 東 学 院
京 都 産 大	15	(96)	4	東 京 教 大
法 政	35	(1718)	17	日 大

8-7と先行、だが早稲田は18分田中、21分菊池で9-8。誰もが「どうやらこれで早稲田のペースか」と思ったにちがいない。

中京の迫力満点の「逆転劇」はこのあとに生まれた。22分樗村、23分7MT(夏目)、26分樗村、28分成田、29分分布垣。みごとであった。

ディフェンスがかんじんなどころでふんばれず、得意のサイド攻撃も不調——早稲田は最後までよいところがなく、初優勝ばかりか一暴れをもくろんだ全日本総合(12月・東京)への出場権も逸した。

○……中大×大経大。期待にたがわぬ好試合の末、中大が左腕上村の大活躍で前年の雪じよくを遂げた。

11-10で残り2分40秒、逃げ切りをはかる中大にストリーリングが課せられ、ムードは最高潮になった。中央、サイドからの大経大の攻撃を中大守備陣は執ように防いでFTの連続、29分25秒こん身の力をこめた奥川の右サイドからのとびこみシュートはGK吉近の堅守に阻まれ、激戦が終わった。

○……それにしても上村の攻撃はすばらしかった。切れのよいフットワークで大経大ディフェンスを振り切りシュートを決めるかと思えば、45度からコース、スピードタイムングとも申し分ないミドル

をとばす。前半3点、後半4点の荒かせぎだった。

大経大は組織攻撃で中大を上廻ったが、相手退場中や7MTの優位を活かせず、つねに後手にまわったのが痛かった。

○……この2試合の充実に、他の6試合はいささか色あせた。わずかに東京学芸大×岐阜大で岐大が、前半25分6-9と劣勢から4点を奪い逆転、後半になって今度は東京学芸大が一気に追撃を喫らした試合がスタンドをわかせただけ。

法政、名城、京産大は楽に試合を進め、日体×慶応は立ちあがり慶応が2-0、明治×甲南も甲南がいきなり3-0とするなどしたが、すぐに地方の差があらわれ波乱を呼びおこすにはほど遠かった。ベストエイトを決める試合としてはどうも物足りない内容である。

▽準々決勝
日 体 21(9-5) 明
12(9-4) 9

得0 032220011000
治吉 本重宿岡根井納幡部
【明有】相村指山山石加江岡
GK F P
【藤本江井野原井本山藤原井】
【日岸細水平田喜橋中齊大福】
得0022202344112

○……日体は前半なかばまでに田原のサイドからの攻撃を中心として着実に得点したが、明治もよく粘り20分5-5、しかし、日体はこのあとがっちり守りを固め、ハーフタイム前、再び攻撃陣も立ちなおって優位をキープした。

後半も、日体のペースで進み15分15-6、大勢を決めた。
(田村幸雄)

中 央 19(12-2) 6
7(1-4) 6 東京学芸大
得001111110001000
【学早樋金服内江古中金谷古】
【吉早樋金服内江古中金谷古】
得0014501305000
○……守りの力がスコアとなった学芸大はいつものようにキビキビした攻撃を示したが、中央のディフェンスはその動きにまどわされず相手に得点機を与えなかった。これに対して学芸大の守りは、中央の突進を前線で阻止できず、山村今関、大熊らを勢いづかせてしまった。
(杉山茂)

中 京 13(7-3) 11 名城
6(1-8) 11
○……互いに手の内を知りつくした相手。名城は中京・夏目をマンツウマンでマークするなど策をねって臨んだが、守りの連けいこれで崩れてしまったようである、結果

得0000001050320
【名橋村井塚 崎俊藤中本孝田】
【高木松石 江杉佐田山杉岩】
GK F P
【井山川田目村林垣見藤宅上】
【福横小成夏麗小布岸佐三村】
得0012310060000
的にこの戦法は成功したとはいえずゆかった。

中京は、前日、早稲田を破って波にのり、長身者を揃えた攻撃陣がこの日も豪快なシュートを決め、主導権を握った。

後半、名城はオーソドックスなディフェンスに戻し、攻撃でも互角以上にわたりあったが、前半の失点を詰めるまでにはいたらなかった。中京の終始ゆとりのある試合ぶりが目についた。(岡前義春)

法 政 16(8-4) 10
得0041230000000
【比岡井田原沢木野田 田田】
【日東福戸大西天萩富 寺浅】
GK F P
【田川手島村井島山本】
【柴森 柳 谷】
得0024143010001

○……10分まで3-1と京産大が先行、おもしろくなりそうだったが、その健闘も15分ごろまで福井のロングシュートによる単調な攻めだけでは巧者を揃えた法政のデ

得00301241110000
【日藤本江井野原井本山幸房井】
【齊岸細永平田喜橋中齊大福】
得00321100320002
○……実力互角の両者は、一進一退をくり返し前半は同点で終わった。後半10分すぎからモロくなつた日体大ディフェンスを中大が徐々にくずしてゆき、点差を開いていった。中大ディフェンスもしばしばピンチがあったがGK山田の巧守に要所で助けられた。日体大は得意の速攻が封じられたのが痛く、セットオフフェンスでも決定力を欠いていた。終盤おいこみ一点差までつめ場内は大いに沸いたが及ばなかった。
(根城)

イフェンスをくずせない。守りが固まった法政はたくみなローリングから次々と京産大ディフェンスをやぶった。相変わらず村田の華麗なプレーとGK柴田の好守が光った。京産大はディフェンスに一考を要しよう。(根城 泰・本誌編集委員)

▽準決勝
中 央 13(7-6) 12 日 体
得00301241110000
【日藤本江井野原井本山幸房井】
【齊岸細永平田喜橋中齊大福】
得00321100320002
【近田田関村本野村熊下本生】
【吉山村今山松佐上大松藤蒲】
得00321100320002

○……実力互角の両者は、一進一退をくり返し前半は同点で終わった。後半10分すぎからモロくなつた日体大ディフェンスを中大が徐々にくずしてゆき、点差を開いていった。中大ディフェンスもしばしばピンチがあったがGK山田の巧守に要所で助けられた。日体大は得意の速攻が封じられたのが痛く、セットオフフェンスでも決定力を欠いていた。終盤おいこみ一点差までつめ場内は大いに沸いたが及ばなかった。
(根城)

法 政 14(8-3) 10 中 京
6(1-7) 10
中 京 14(8-3) 10 中 京

法 政 14(8-3) 10 中 京
6(1-7) 10 中 京

得002202020202020
 京)井山目田川村林垣見藤宅上
 【福横夏成小梶小布岸佐三村

GK
 FP
 政)田田手 島田川村井島山本
 柳 川村長川荒矢青橋
 得002444000000000

14 (2) 7MT (0) 10

○……法政が村田の速攻で充制点をあげ、続いて8分柳がサイドから決めリードをうばった。中京が法政のディフェンスを攻めあぐんでいる間に法政は着々と加點しワンスの展開となった。中京はエース夏目か法政の巧いディフェンスにあいつぶされたのが響いた。

中京、日体破り3位に

◇3位決定戦

中 京 16 (8 | 3) 9 日 体
 ○……中京は法政戦(準決勝)とは違ってかわってのびのびとした攻守を見せ15分までに6点をリード、一方の日体はゴールまでの動きが鈍く21分間無得点という不調。後半も中京が着々と得点するのに対し、日体は15分7-12としたのが精いっぱい。中京はGK福

井の好守もあり、公式戦で初めて日体を降し、東海勢宿願の3位入賞を果たした。(大塚文雄)

法政、チームプレー鮮やか

◇決勝

法 政 16 (9 | 8) 14 中 央
 得00100026430000
 政)田田 川村島田手本島井山
 柳谷 長川川村井橋矢荒青
 得0011222211103
 中)吉山村今山松上佐蒲戸藤大
 得0011222211103

44 (0) 7MT (2) 16

○……法政が2分橋本のポストプレーで先行したが10分中央も今開のシュートで同点、一進一退のすべり出しとなった。17分すぎ4-4の同点から、法政は井手のサイドシュートでリード、20分にも村田がロングを決め勢いにのるかと思えたが、中大も大熊が気力に満ちたシュートを連続させて反撃、予断を許さぬまま前半をおえた。

○……後半、法政は村田を中心にした巧みなローリングから中大ディフェンスをくずし、橋本、長谷川、井手らがシュートを決め14分には5点差をつけた。中央は攻める範囲がせまく、法政の機敏なディフェンスを攻めあぐんだ。法政は要所で村田の巧シュートで17分すぎには14-8と試合を一方的なものにした。中央も終盤おいて

み24分松本のゲットで3点、27分には2点差とおいこんだが28分の7MTを法政GK柴田におさえられたのが痛く逆転はならなかった。

法政には、関東学生で中央に連

勝している自信がのぞかれ、また、攻め口の多彩さでも上廻ったことが勝因である。(根城)

ファンが目 橋本、畑中選ぶ

白熱した競技、優勝争いとは別に全日本学生連がこの大会で初めて試みた「ファン(投票)」による優秀選手」は、関係者やファンの関心を呼んだが、男子では橋本の関心選手(日体大3年、新居浜工出)、女子では畑中多恵子選手(東京教大4年、寝屋川高出)が最高得票、記念品を贈られた。

投票は、期間中の有料入場者に投票券を渡し、単記で行なわれたが総投票数は四七七(内訳、男二八三、女一九四)。5日間の延給入場者・四千八百人(推定)の1割が「清き一票」を投じたことになり橋本君の得票は54、畑中さんは25と2位に大きく差をつけてのものだった。不まじめな投票もなく、第1回としてはまずまずの成果だったが、「関東以外の選手はよく知らない」「ファン投票を行なうくらいなら、試合前に選手紹介をすることのほうが先決」といった声もあつた。

柳(法政)らベストセブンに全日本学連は大会終了後、この大会のベストセブン(男女)を次のように選び、発表した。

男子▽GK、福井秀人(中京)

▽FP、柳隆司、井出信一、村田幸男(以上法政)、山村佳生(中央)、夏目真治(中京)、脇若正二(早大)

女子▽GK、榎本美保(武庫川)

▽FP、岩本富順、坂本陽子、小林信子、松本みどり(以上日体)、畑中多恵子(東京教大)、西田恵子(東京女体大)

コートサイドに拾う

○……3位決定で日体を破った中京セブンはまるで優勝したような騒ぎ。それもそのはず、創部以来、日体を公式戦で破るのが、同校の悲願だったからだ。大本命・早大を降し、日体も押し切った中京の活躍は今大会のハイライトとコートサイドも絶讃しきりだった。

○……試合中に馬とび? 法政×中京戦の後半22分、法政のテクニシャン村田がGKからのパスを受けて攻撃に移らうとしたところ左野審判員と危うくぶつかりそう。村田は身をかがめた佐野氏の背中に両手をつけてとびこし、しよう突をさせた。ボールは相手へ渡ったものの、スタンドはこの「妙技」に大爆笑だった。

オリンピックの技術が生きている。

東京、メキシコ、ミュンヘンと連続3回オリンピック試合球に選ばれたミカサの超高級ナイロン糸巻きの技術の粋がこのボールにもすべてに生かされています。

〈科学のボール・完全防水……クラリーノ製(準検定)もあります。〉

日本ハンドボール協会検定球



MIKASA **明星ゴム工業株式会社**
 広島・東京・大阪・福岡・名古屋・札幌

日体、4連勝

女子

▽1回戦

大阪体大 13(8-5-1) 3 愛知教大 (関西)

日女体大 16(8-0-0) 0 中京女大 (関東)

大阪教大 7(4-3-2) 6 日女体大 (関西)

東京教大 14(9-3-3) 2 山口大 (関東)

東京学芸大 10(6-1-1) 2 甲子園短大 (関東)

武庫川女 8(4-2-2) 4 中京 (関西)

○……武庫川×中京は関西、東海

の1位同士。上り坂の武庫川に対し、中京にはひところの精彩がなく、意外の差をつけて武庫川が勝ち進んだ。

大阪教大×福岡教大はもつれあいから後半18分5-5。大教大は残り2分間に山下が決勝の2ゴールをあげた。

東京教大×山口大は、畑中、田中の両エースの射ちあいたったが、東京教大が後半チャンスを確実に活かし最後は大差となった。

東女体大、貧攻で自滅

日体は大阪体に快勝

▽準々決勝

日体 11(7-5) 5 大阪体大 (関東)

○……大体大は前半10分3-2と

優位に立ったが、日体はすぐ小松が2ゴールして余裕を取り戻し、そのあとのチャンスを着実に活かしてリード、特に後半は1点も許さぬ守りの強さもあって快勝した。(岡田修・全日本学連委員長)

大阪教大 7(4-1-2) 6 日女体大

○……ともに決め手のない攻撃のくり返しだったがわずかに大教大が押し気味に試合を進めた。

後半も同じような展開から大教大は田中、牧野で20分6-3と開いた。日女はこのあと高田、曾我部のゲットで追いついたものの時間切れで大教大に逃げこまれた。

東京教大 5(2-1-0) 3 東京学芸大

○……東教大が11分畑中、13分伊藤で2点をあげたのに対し、学芸大は攻撃に変化がなく前半無得点という貧攻。後半、東教大は2本の7MTなどで15分5-1と聞き、学大にそのあと2点を奪われたものの影響なかった。(岡田)

武庫川女 3(2-1-1) 1 東女体大 (関東)

○……前半の得点機はむしろ東女の方に多かったが、武庫川GK榎本の堅実な動きと、シュートミスなどでどうしてもゴールを割れない。

武庫川は4分仕のあげたゴールを大事に守り、後半3分にも辻が1点を加えた。東女は9分7MT

(高橋)でようやく1点を返したが、そのあと無得点、逆に武庫川に20分1点を加えられてしまった。東西秋の優勝校同士という顔合せにしては、やたら重苦しいだけで、見せ場に乏しい内容だった。(岡田)

武庫川女、東教大に敗る

▽準決勝

日体 15(6-1-0) 2 大阪教大

得0 000010001000

【居 川木原下中藤柳本本野

大市 滝八松山田佐大山橋牧

GK 木川木林尾上本井本田 山

日谷 鈴木若小西坂坂音松小 藤

得00000000000000

○……早い攻撃の日体、セットからじつくり攻めようとする大教大

対照的な試合ぶりだったが、大教大は相手ディフェンスを攻め崩すだけのスピードがなく、一方的なゲームとなってしまった。

準決勝としてはまったく物足りなく、上昇気味といわれる女子学生界だが、実力未だしの印象を深めた。

東京教大 7(4-1-1) 5 武庫川女 (佐分正典)

○……前半10分すぎ東教大が先制点をあげ、畑中があざやかなポストプレーを決めリードした。武庫川は再三のチャンスをシュート力

【東 賀梨中木井鳥屋田島宮山本

GK 名坂畑橋松白土横中神西吉

得00401020000000

【本 本田本輪川 尾 尾塚本上

GK 榎吉橋三中 寺 赤中谷井

得000010021000001

5(0) 7MT(0) 7

【東 賀梨中木井鳥山屋田島宮山

GK 名坂畑橋松白秋土横中神西

得0020100010001000

7(2) 7MT(0) 4

武庫川女、初の3位に

▽3位決定戦

武庫川女 6(5-1-2) 3 大阪教大

○……武庫川は10分までに井上、辻、橋本らで4-0、一方的な展開かと思われたが、大教大もそのあとで2点を返し興味をつないだ。

しかし、地方の差ははっきりしており武庫川は23分に1点を追加後半は鋭さを欠いて7MT1本に終わったが、GK榎本の好守もあり、関西のチームとして初めて3位に入賞した。(永山 茂)

東教大、畑中の奪闘光る

▽決勝

日体 7(1-1-1) 4 東京教大

○……前半東教大が4分松井があげた1点で押し気味に試合を進めたが前半終了まぎわ日体大は7MT(藤山)をきめ同点においてい

【本 木川本信 尾木上山本田井

GK 日谷 鈴木若小 西坂坂音松小 菅

得00200020030000

7(2) 7MT(0) 4

【東 賀梨中木井鳥山屋田島宮山

GK 名坂畑橋松白秋土横中神西

得0020100010001000

7(2) 7MT(0) 4

【東 賀梨中木井鳥山屋田島宮山

GK 名坂畑橋松白秋土横中神西

得0020100010001000

7(2) 7MT(0) 4

優勝監督の語

法政・安藤監督 秋の関東学生が2位で終了選手たちが奮起した賜だと思ふ。全員が優勝の殊勲者だ。結果的には第1戦の大体大が最大のヤマであった。

日体・一宮監督代行 今の女子学生界はどこも実力が不安定で、ウチもその例外ではなかった。確実なプレーを心掛けさせた。

武庫川女、初の3位に

武庫川女、初の3位に

武庫川女、初の3位に

武庫川女、初の3位に

武庫川女、初の3位に

武庫川女、初の3位に

武庫川女、初の3位に

武庫川女、初の3位に

北大に5年連続「知事杯」

各地の学生記録(続報)

中四国、山口大が3季ぶり

北海道

◇第5回北海道知事杯争奪学生選手権◇10月26、28日◇10旭川教大参加6校
結果的には北大の連覇になったが、独走というわけにはいかず盛りあがりのある大会だった。
第1日は釧路教大が好調を示し2勝をマーク、北大は北見工大と星を分けた。
第2日に入って、一つのヤマと見られた釧路教大×北見工大戦で釧路が勝ち、がぜん優位とみられたが、旭川教大戦で前半のリードを守り切れず敗れる取こぼしがあった。それに引きかえ北大は手固くこの日の試合を握り、白力優勝をかけた最終戦で釧路教大を圧倒5年連続、王座を守り切った。

各校とも守備力の向上が目立った。個人最多得点は和田(北見工大)31点。なお、第2日旭川教大×北大・旭川教大1年混成軍の女子オープン戦を行なった。	室蘭工大 15(10 5 8) 12 北見工大	北 大 22(15 7 5) 13 旭川教大	釧路教大 24(11 3 7) 13 小樽商大	北 大 13(8 6 7) 13 北見工大	釧路教大 18(9 9 3) 9 室蘭工大	旭川教大 19(13 6 4) 14 小樽商大	釧路教大 14(3 11 5) 13 北見工大	北 大 23(10 13 2) 6 小樽商大	旭川教大 15(7 8 6) 14 室蘭工大	北見工大 22(13 9 2) 5 小樽商大	北 大 15(9 6 7) 10 室蘭工大	旭川教大 15(11 4 6) 13 釧路教大	室蘭工大 12(4 8 8) 12 小樽商大	北見工大 21(11 10 3) 8 旭川教大	北 大 24(14 10 2) 11 釧路教大
--	-------------------------	------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------

◇11月3、4日◇松山市・愛媛大球技場◇参加1部5校、2部6校
1部は第1日で顔を合わせた山口大×広島修道が、事実上の決勝。期待どおりの接戦となったが、山口大は前半巧く優位に立ち、振り切った。
難関を通りこした山口大は、そのあと岡山、香川大の食い下りを受けて全勝、47年春以来3シーズンぶり5度目、秋季選手権では第6回(昭42)以来6年ぶりの優勝を飾った。2位は春季優勝の修道が入り、1部復帰の岡山大が3位に食いこんだ。
2部は3校づつ2組の予選リーグのあと各組上位者が1〜6位までを争ったが、ホームコートの愛媛大が圧倒的な強味をみせ、広島大福山を退け初優勝した。
44年以降秋季には絶対の強味を示していた昨秋の覇者・松山商大は、今春1部をすべり、今季もその不振からまったく立ち直れず2部最下位という転換ぶりだった。
立教、芝浦工大(関東)、関学(関西)など各地で名門の低迷が目立っているが各校のカムバックを期待したい。

山口大 15(9 6 7) 13 修道	香川大 19(9 10 5) 7 広島工大	山口大 17(10 7 5) 14 岡山	山口大 19(8 11 4) 9 広島工大	修道 18(9 9 9) 15 香川大	岡山 18(11 7 3) 6 広島工大	山口大 17(9 8 7) 13 香川大	修道 16(9 7 8) 13 岡山
---------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	--------------------

▽順位①山口大4戦全勝②広島修道大3勝1敗③岡山大2勝2敗④香川大1勝3敗⑤広島工大4敗

松山商大ついに最下位

▽2部予選リーグA組	広島大福山 23 8 近代工学部	近代工学部 12 6 松山商大	広島大福山 17 6 松山商大
▽同B組	山口大工学部11(分)11 広島大	愛媛大 19 6 広島大	愛媛大 21 3 山口大工学部
▽同5・6位決定戦	山口大工 10(7 3 2) 7 松山商大	山口大工 10(7 3 2) 7 松山商大	山口大工 10(7 3 2) 7 松山商大
▽同3・4位決定戦	広島大 17(8 9 8) 10 近代工学部	同1・2位決字戦	愛媛大 14(10 1 2) 3 広島福山

Molten

ハンドボール

日本ハンドボール協会検定球

(確かさの誕生)



モルテン工業株式会社

京都産大 8 (4-1-3) 6 大阪体大 得0 0 1 2 0 1 0 1 0 0 0 0 1
 倉谷本柳尾内田野辺波村井
 【大】 穴神坂白松山藤宇矢野岡丸
 GK 審・藤本 福井
 比口井田原沢前木野田岡
 産 京 日東福戸大西中天荻富寺
 得0 0 1 0 2 3 0 0 0 0 2 0 0
 ○……ともに決め手がないまま進んだが、京産大は前半28分からは後半10分までに4ゴールして6-3としたのが大きかった。大体大は後半24分6-6に迫いついたが、そのあと京産大の富田、西沢に得点を許し敗れた。中村、福永の主力を就職試験で欠いたのもひびいたようだ。

同志社 10 (6-1-6) 9 京都産大 甲 南 21 (10-1-8) 10 京 大 得0 0 2 6 2 0 0 0 0 0 0 0
 畑 田鍋井边上洲西津田井
 【京】 藤真平渡井花大高平
 【広】 藤真平渡井花大高平
 GK 審・村上 金田
 南 藤博西村田井藤島橋福田方
 南 谷 甲 加古川中武藤伊藤石高和緒
 得0 0 1 6 8 1 0 2 3 0 0 0
 大阪体大 16 (12-1-8) 14 大阪経大 ○……全勝の大経大、1敗の大体大。優勝をかけた一戦にふさわしい好試合だった。前半は大経大が津川、穂積の好技で押し気味に試



優勝をかけた大体大一大経大戦、大経大の攻撃(関西学連提供)

得0 1 6 6 1 0 0 0 0 0 0 0
 井 川川積木本宮田井川
 【大】 奥津穂山橋二太石 塩
 GK 審・橋谷 山中
 倉谷本村柳永尾内波井野田
 体 大 穴神坂中白福松山野丸宇藤
 得0 0 4 1 0 0 0 0 2 2 7 0 0
 合を進め、その展開ぶりから一気に勝利を握るかにみえた。
 と同時に2本の7MTを含めて、あっという間に6点を奪い10分には10-8と逆転をとげた。
 ○……大経大は15分すぎから立ちなおり再びリードを奪う場面もあったが、主導権までは握れず、20

分13-13。すべてのかかった残り7分、大体大はまず中村で先行、つづいて27分の7MTをこの日活躍の新人・丸井(堺工出)が決め15-13、必死の大経大は29分1点差に詰めよったが、大体大は残り20秒でダメ押し点をあげ、みごとに逆転優勝を遂げた。
 大経大にとっては、後半立ちあがりの乱れが、あまりにも大きな悔いを残すことになってしまった。

近大、立ちなおり優勝
 ▼2部
 京都教大 20 (10-10-9) 19 近 大
 竜 谷 16 (9-7-6) 13 立命館
 関 大 15 (9-6-7) 12 大阪府大
 京都教大 20 (12-8-5) 13 竜 谷
 桃山学院 16 (9-7-3) 10 立命館
 京都教大 14 (8-6-7) 12 立命館
 近 大 13 (7-6-4) 7 大阪府大
 竜 谷 17 (9-8-6) 16 桃山学院
 関 大 22 (10-12-9) 13 桃山学院

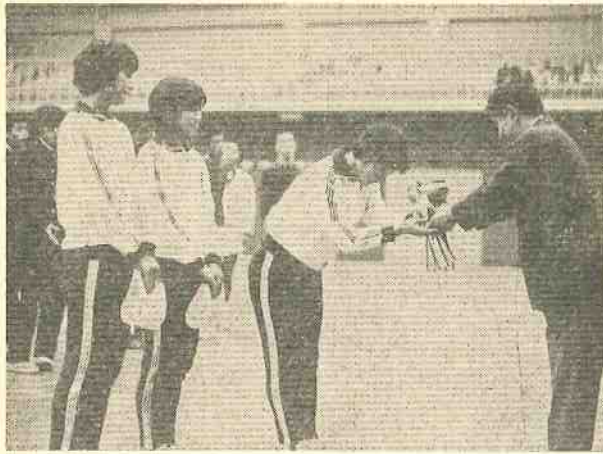
関西学生秋季 (1部)

体	産	同	阪	甲	京	P	得	失	差
●	●	●	●	●	●	10	39	58	81
●	●	●	●	●	●	10	43	58	76
●	●	●	●	●	●	8	94	69	69
●	●	●	●	●	●	4	94	119	143
●	●	●	●	●	●	2	83	148	159
●	●	●	●	●	●	0	41		

【2部順位】①近大 5勝1敗 ②立命館 3勝1敗 ③桃山学院 2勝1敗 ④大阪府大 1勝1敗 ⑤京都教大 1勝1敗 ⑥大阪体大 1勝1敗 ⑦大阪経大 1勝1敗 ⑧大阪工大 1勝1敗 ⑨大阪市大 1勝1敗 ⑩追手門学院 1勝1敗

大阪府大 15 (7-8-7) 13 竜 谷
 近 大 25 (11-14-12) 19 桃山学院
 立命館 11 (7-4-2) 8 大阪府大
 関 大 21 (12-9-11) 20 京都教大
 近 大 21 (10-11-8) 14 立命館
 立命館 16 (8-8-6) 8 関 大
 近 大 24 (10-14-8) 13 竜 谷
 竜 谷 16 (7-9-7) 13 関 大
 桃山学院 16 (8-8-9) 16 京都教大
 引き分け
 桃山学院 16 (9-7-8) 14 大阪府大
 京都教大 19 (9-10-8) 10 大阪府大
 近 大 23 (14-9-8) 14 関 大
 ▼3部
 追手門学院が3度目

神戸大 22-10 大阪薬大
 追手門学院 31-9 大阪工大
 神戸大 27-4 天 理
 大阪薬大 没取試合 関 学
 (注)関学がエントリー外選手を起用したため没取試合とされた。
 関 学 20-15 天 理
 大阪工大 乘 権 大阪薬大
 追手門学院 21-19 大阪市大
 大阪市大 19-16 大阪薬大
 関 学 22-6 追手門学院
 天 理 22-16 大阪工大
 神戸大 20-12 大阪市大
 追手門学院 26-6 大阪工大
 神戸大 23-15 大阪工大
 関 学 23-12 大阪市大
 天 理 23-16 大阪工大
 関 学 18-13 大阪工大
 追手門学院 21-15 天 理
 大阪市大 18-10 大阪工大
 神戸大 8-8 関 学
 引き分け
 【3部順位】①追手門学院 5勝1敗 ②神戸大 4勝1分1敗(得失点差35) ③関学 4勝1分1敗(16) ④天理 3勝3敗 ⑤大阪市大 2勝4敗 ⑥大阪工大 1勝5敗(マイナス37) ⑦大阪歯大 1勝5敗(マイナス42)
 ▼4部
 和歌山大 19-12 大阪薬大
 大阪教大 20-9 大阪外語大
 大阪薬大、幸運の初優勝



宿願の優勝を遂げ表彰をうける武庫川女子大。(関西学連提供)

しかし、みごとに粘りて引き分けにもちこんだ。大体大は、すでに武庫川女に押しまくられており、これで優勝の望みが消えた。最終戦を前に武庫川女は3勝で得失点差19、甲子園は2勝1分で得失点差14武庫川女は引き分けでも初の栄冠に輝やくというアドバンテージ。

しかし、さすがに甲子園は強味をみせ、後半7分福田で4-4のあと、16分木下がゲット、5-4とし、守備陣の好調からそのまま逃げ切るかにみえた。前半20分以降完封されていた武庫川女は22分30秒辻が最後の力をふりしぼるように入シュートを決め5-5。この1点で武庫川女は昭和45年秋復帰以来6シーズン目で優勝を飾った。みごとに抬頭ぶりといえよう。

大阪体大、甲子園短大で優勝を持ちまわっていたような関西女子学生界は、これで新しい幕を開けることになるのではなからうか。個人得点1位は12ゴールをあげた井上明美選手(武庫川女大、住吉学園出)に決まった。

甲子園短大 8(2)0 2 大阪教大
大阪体大 23(13)0 0 大阪薬大
武庫川女 7(5)2 6 大阪教大
甲子園短大 12(7)2 2 大阪薬大
大阪教大 8(2)2 2 大阪薬大

阪薬科大4敗
得0 0300110
【甲子園】田下内田田嶋師音
【甲子園】平木竹太福飛大
得0 10004010
大阪体大 13(9)1 2 大阪教大
武庫川女 5(4)3 5 甲子園短大

▽1-2部
①院 3部 18(9)1 7 13 大阪府大
②部 16(8)1 3 9 京都教大
③部 16(8)1 3 9 京都教大
④部 16(8)1 3 9 京都教大

▽5部
京都工繊大22-18 奈良教大

大阪教大 20-14 関西外語大
関西外語大 20-11 大阪外語大
大阪薬大 15-10 大阪教大
和歌山大 16-9 関西外語大
大阪薬大 25-3 大阪外語大
和歌山大 24-11 大阪外語大
大阪薬大 16-8 関西外語大
大阪教大 13-12 和歌山大

【順位】①大阪薬大3勝1敗(得失点差28)②和歌山大3勝1敗(25)③大阪教大3勝1敗(13)④関西外語大1勝3敗⑤大阪外語大4敗

新加盟の神戸商船快調

関西 西(女子)

◇10月7日◇10月28日◇大阪府立
大学体育館はか◇参加5校
大阪教大、大阪薬大はやや力不足だったが、あとの3校は伯仲もつれた。

4連勝を狙う甲子園短大は、順当な試合ぶりで進んだが大体大戦は苦しみ、残り3分で4-6とリードされ危かった。

しかし、さすがに甲子園は強味をみせ、後半7分福田で4-4のあと、16分木下がゲット、5-4とし、守備陣の好調からそのまま逃げ切るかにみえた。前半20分以降完封されていた武庫川女は22分30秒辻が最後の力をふりしぼるように入シュートを決め5-5。この1点で武庫川女は昭和45年秋復帰以来6シーズン目で優勝を飾った。みごとに抬頭ぶりといえよう。

大阪体大、甲子園短大で優勝を持ちまわっていたような関西女子学生界は、これで新しい幕を開けることになるのではなからうか。個人得点1位は12ゴールをあげた井上明美選手(武庫川女大、住吉学園出)に決まった。

甲子園短大 8(2)0 2 大阪教大
大阪体大 23(13)0 0 大阪薬大
武庫川女 7(5)2 6 大阪教大
甲子園短大 12(7)2 2 大阪薬大
大阪教大 8(2)2 2 大阪薬大

近大復帰、京大落ちる

▽関西学生秋季男子各部入れ替え戦(11月・追手門学院体育館)

▽4-5部
関西外語大 22-11 姫路工大
神戸商船 17-9 大阪外語大
和歌山大 14-11 大阪工大
大阪薬大 20-14 大阪薬大
立命館 20(8)1 5 13 神戸大
②部 18(9)1 7 13 大阪府大
③部 18(9)1 7 13 大阪府大
④部 18(9)1 7 13 大阪府大

武庫川女、みごとに初優勝

関西 西(女子)

姫路工大 16-12 京都工繊大
神戸商船 25-13 奈良教大
神戸商船 18-14 京都工繊大
姫路工大 31-4 奈良教大

【順位】①神戸商船(新加盟)3戦全勝②姫路工大2勝1敗③京都工芸繊維大1勝2敗④奈良教大3敗

中京、今季も全勝優勝

東海

◇10月20日～11月11日◇名古屋・天神山球技場ほか◇1部6校、2部9校

1部は今季も中京、名城の争い。第3日に対決した両者は春同よう名城のリードで序盤が進み、後半6分までたえず先行。しかし中京は後半7分7MTで6-6の同点に追いついたあと夏日(全日本ジュニア)、成田らで一氣に主導権を奪い20分には10-6とはなした。名城もこのあと田中、森、佐藤らで追いこんだが、中京も加點、結局押し切った。

中京はこのあとの試合も慎重に勝ちとり全勝、7シーズン連続27度目の優勝を飾った。2位は7シーズン連続して名城。

2部は参加9校を、3校づつ3組の第1次リーグを行ない、各組1位同士で優勝を争った結果、愛知大豊橋と三重大が1勝1分。得失点差で愛大豊橋がわずかに1点差で上廻り41年春以来2度目の優勝を飾った。なお入替戦は名大が愛大豊橋を18-9で破った。

▽1部
中京 27(15|12|1|1) 3名 大名城 大26(19|7|1|8) 8 岐阜大

南 山 22(11|1|5|3) 8 愛知教大
名城 27(17|10|1|3) 4 愛知教大

南 山 16(10|6|1|5|6) 11名 大

中京 24(12|12|1|5|2) 7 岐阜大

岐阜大 16(10|6|1|7|4) 11 南

愛知教大 19(11|8|1|5|8) 13名 大

中京 12(7|5|1|4) 9名 城

得00000102122210

【高木松石 長江佐田山杉岩 森 塚崎藤中山山田】

【岩見 松井】

【井川 田村木垣見藤宅上】

【小成夏梶木布岸佐三村】

中京 31(16|15|1|3) 8 愛知教大

名大 17(7|10|1|6) 13 岐阜大

名城 18(9|9|1|5|4) 9 南

愛知教大 11(8|3|1|2) 8 岐阜大

名城 18(10|8|1|4) 8名 大

中京 18(8|10|1|2) 8 南

【順位】①中京5戦全勝②名城4勝1敗③南山・愛知教大2勝3敗④岐阜大1勝4敗(得失点差マイナ

ス37)⑥名大1勝4敗(マイナスイ)

▽2部第1次リーグA組

中部工大 13-9 名古屋学院

滋賀大 33-17 名古屋学院

滋賀大 18-10 中部工大

▽同B組

愛大名古屋不戦勝 愛知工大

三重大 15-11 愛大名古屋

三重大 不戦勝 愛知工大

▽同C組

愛大豊橋 18-15 静岡大

静岡大 21-10 名古屋工大

愛大豊橋 14-8 名古屋工大

▽同1-3位決定リーグ

愛大豊橋 14(8-1-4) 7 滋賀大

滋賀大 17(9-1-2) 8 三重大

愛大豊橋 13(7-1-7) 13 三重大

引き分け

▽同4-6位決定リーグ

静岡大 17-8 中部工大

中部工大 13(分)13 愛大名古屋

静岡大 15-14 愛大名古屋

▽同7-9位決定リーグ

東海 (女子)

◇10月20日～11月11日◇名城大グランドほか◇参加4校

4校2回総当り。優勝がもちこまれた第2次リーグは中京が無キズで進んだのに対し、中京女は復調の岐阜大に敗れ一歩退いた。最終日の中京×中京女は、中京が地力勝ち、4シーズン連続14度目の優勝を遂げた。

中京 13(8-5-1-2) 5 愛知教大

岐阜大 6(3-3-1-3) 6 中京女

引き分け

中京 6(5-1-2) 4 岐阜大

愛知教大 8(4-1-2) 8 中京女

引き分け

中京女 6(3-3-1) 4 中京

岐阜大 7(5-2-1-3) 6 愛知教大

中京 12(6-6-1-4) 6 岐阜大

中京女 5(1-4-1-0) 3 愛知教大

中京 9(5-4-1-2) 5 愛知教大


岐阜大 10(4-6-1-3) 3 中京女

中京 7(5-2-1-0) 2 中京女

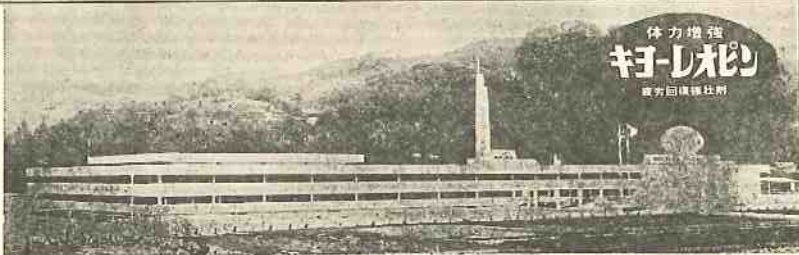
岐阜大 6(5-1-3-1) 4 愛知教大

【順位】①中京5勝1敗②岐阜大3勝1分2敗③中京女2勝2分2敗④愛知教大1分5敗

近代化を誇る
湧永薬品広島工場



湧永薬品
株式会社



本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891
支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場/広島・和歌山

九州産大、圧倒の攻守

福岡県学生秋季戦

第7回福岡県学生秋季リーグは10月27、28、11月3日の3日間、東海大体育館に1部5、2部4校が参加して行なわれ、九州産大がバランスのとれた攻守で他校を圧倒4戦全勝で優勝を飾った。

▽1部

福岡大 12(4|1|3) 4 東海

福岡教大 5(1|1|0) 4 西南学院

福岡教大 6(3|1|1) 6 東海

引き分け

九州産大 12(4|1|2) 7 西南学院

福岡教大 11(6|5|3) 7 福岡大

西南学院 9(5|4|2) 6 東海

九州産大 11(6|5|1) 6 福岡大

九州産大 15(8|7|3) 7 東海

福岡大 12(6|1|5) 9 西南学院

九州産大 19(8|1|3) 10 福岡教大

【順位】①九州産大4戦全勝②福岡教大2勝1分1敗③福岡大2勝2敗④西南学院1勝3敗⑤東海1分3敗

▽2部

福岡工大 15|1|3 東和

九州大 5|1|4 九州工大

九州工大 17|1|7 東和

九州大 14|1|5 福岡工大
福岡工大 12|1|11 九州工大
九州大 14|1|4 東和

【順位】①九州大3戦全勝②福岡工大2勝1敗③九州工大1勝2敗④東和3敗

日大と 日大と 関東学生秋季各都入
どまる れ替え戦・続報(10月)

▽2部3部

東海 17(10|7|5) 14 立教
(2部①)

▽1部2部

日大 21(13|8|9) 15 東京教大
(1部①)

(注) この他の試合は前号既報

世界選手権欧州予選(第2報)

◇第1群・第2戦

アイスラ 28(18|10|9) 15 フランス

ポロラン 20(12|8|9) 13 オランダ

オランダ 16(10|6|7) 11 スイス

ポロラン 17(10|7|10) 17

引き分け

◇第3群・第1戦

ブルガリ 22(10|12|8) 14

◇第4群・第1戦

デンマー 24(14|10|5) 8

(注)各グループとも3国2回のリーグ戦、年内に代表が決められる。

厚く、深い底刻み、
フット・ワーク優先の
合理シューズ



- 力のロス、横スベリを解消した合理設計で定評高い斜線模様の特種モールド底。(特許出願中)
- 厚く、彫りの深い底、中底はユニークな弾性を誇る二重スポンジ・クッション。
- 表布と裏布を離した袋状アッパーで、快適な足扱い、軽快な履き心地。
- ブルー、金茶のカラー・フルなデザイン。
- 要部に革補強。



ハンドベアー

デラックス〈HX〉●サイズ=22.5~29●ブルー・金茶●¥1,900
スタンダード〈HA〉●サイズ22.5~29●アイボリー●¥1,700

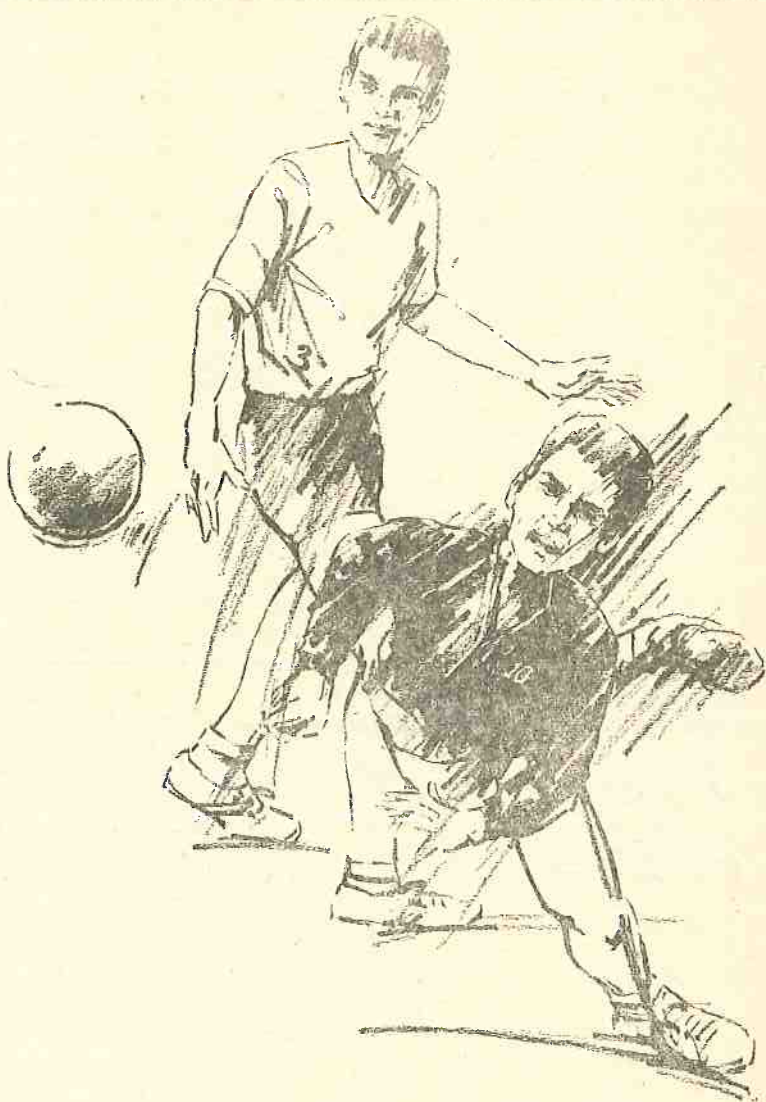
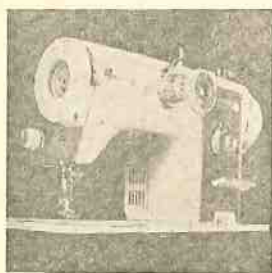
神戸 ベア株式会社 東京

●全国有名スポーツ品店、百貨店で求め下さい。

好評発売中!

日本ハンドボール協会編 「ハンドボールテキスト」 300

お申し込みは日本ハンドボール協会普及部まで



鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髄がある

■ジューキマシンは精密工学の結晶とうたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

ジューキ

 東京電機工業株式会社

各地の記録

佐賀、全部門出揃う

若楠(わかす)と別称も決まった佐賀国体(昭51)の開催を記念する県民体育大会ハンドボール競技が10月、佐賀東高校球場で行なわれ、中学(別掲)、高校、一般とも男女が勢揃い、佐賀協会にとっても特筆すべき大会となった。

▽一般男子1回戦(1試合)

佐商OB 19-13 佐農OB

▽同準決勝

佐賀教員 15-10 自衛隊

神埼ク 23-14 佐商OB

▽同決勝

神埼ク 24

0	3	9	12
1	0	1	11

 21 佐賀教員

▽同女子準決勝(11回戦)

神農OG 23-7 武埴ク

神埼ク 14-4 佐賀東OG

▽同決勝

神埼ク 13(8-3) 9 神農OG

▽高校男子1回戦(1試合)

佐賀西 18-11 鹿 実

▽同準決勝

佐賀商 16-4 神埼農

佐賀農 23-10 佐賀西

▽同決勝

佐賀高 12(6-5) 10 佐賀農

▽同女子準決勝(11回戦)

佐賀女 12-3 嬉野商

神埼農 6-3 佐賀東

▽同決勝

神埼農 5(2-0) 2 佐賀女

コンドルス、自衛隊勝田

制す

▽第23回茨城県総合選手権(11月)

・麻生高

▽男子準々決勝

コンドルス 22-7 石岡一高

茨城大 17-11 石岡商高

麻生高 10-7 土浦工高

自衛隊勝田 不戦勝 日立製作所

▽同準決勝

コンドルス 24-8 茨城大

自衛隊勝田 15-7 麻生高

▽同3位決定戦

麻生高 9-8 茨城大

▽同決勝

コンドル 17(8-5) 13 自衛隊勝田

▽女子準々決勝

笠間高 6-4 麻生高

水海道二高 10-9 石岡商高

石岡二高 14-3 波崎高

結城二高 16-5 茨城大

▽同準決勝

水海道二高 8-7 笠間高

結城二高 7(延) 5 石岡二高

▽同3位決定戦

笠間 10-7 石岡二高

▽同決勝

水海道二 9(3-1) 5 結城二高

青森ク、"成年"の地力

▽第13回青森県下総合室内選手権(11月・県立青森高)

▽男子決勝トーナメント1回戦(準決勝)

青森ク 20-11 県中央高校

選抜

▽同決勝

青森ク 29(15-5) 12 県南部高

青森ク 14(7-7) 7 校選抜

▽女子1回戦(2試合)

青森高 5(分) 5 野辺地高

7MTコンテストの結果、青森

高の勝ち

▽同準決勝

三本木高 9-6 柏木農高

あすなろ 16-5 三本木高

青森西高 16-0 青森高

▽同決勝

あすなろ 5(3-2) 3 青森西高

有磯、富山女せりあう

▽富山県秋季高校選手権(11月・二上工高)

▽男子準々決勝

伏木 14-3 高岡

二上工 20-7 富山

氷見 21-3 雄山

高岡高 13-12 日大高岡

▽同準決勝

二上工 11-9 伏木

氷見 14-13 高岡高

▽同決勝

氷見 11(7-5) 9 二上工

▽女子1回戦(3試合)

富山女 8-4 小杉

有磯 5-4 富山北

氷見 14-13 高岡高

▽同決勝

氷見 11(4-4) 9 二上工

▽女子1回戦(3試合)

富山女 8-4 小杉

有磯 5-4 富山北

高岡女 16-0 高岡

▽同準決勝

富山女 15-3 清光

有磯 6-5 高岡女

▽同決勝

有磯 7(5-3) 6 富山女

一般は氷見ク勝つ

▽富山県一般男子秋季選手権(11月・二上工)

▽準決勝

氷見ク 15-14 富山大

想球会 13-9 二上OB

▽決勝

氷見ク 18(11-4) 11 想球会

八幡工と彦根西快勝

▽第16回滋賀県秋季高校大会(11月・八幡商)

▽男子決勝トーナメント1回戦

彦根東 6-5 米原

八幡工 7-4 彦根工

▽同決勝

八幡工 10(5-2) 4 彦根東

▽女子決勝トーナメント1回戦

安曇川(あどかわ) 4-3 高島

京都ク全日本総合へ

全日本総合選手権出場をかけた全国社会人西地区代表決定戦は11月10日大阪・東淀川体育館で行なわれ京都クが勝つた。
 (近畿) 20(10-5) 15 桜丘会(東海)

彦根西 9(延) 7 守山女

▽同決勝

彦根西 6(4-1) 1 安曇川

社会人は高島ク順当

▽第2回滋賀県秋季社会人選手権(11月・高島高) 男子のみ

▽1回戦(3試合)

高島ク 28-13 今津自衛隊

滋賀教員 21-8 松下電工

大津自衛隊 15-8 I・B・M

▽準決勝

高島ク 18-14 滋賀教員

大津自衛隊 19-13 八幡工OB

▽決勝

高島ク 22(11-6) 14 大津自衛隊

海自第4航空群が優勝

▽千葉県実業団秋季定期戦(11月・佐原市) 順位のみ

[1部順位] ①海上自衛隊第4航空群 ④全勝 ③三井石油 ③勝1敗 ③海上自衛隊 ③術校 ④丸善石油 ⑤海上自衛隊館山航空基地

[2部順位] ①陸上自衛隊志津高射学校 ②任友千葉化学 ③日産石油化学 ④陸上自衛隊松戸教導隊 ⑤KKヤトロン ⑥航空自衛隊峯岡基地

▼千葉県高校新人大会(11月・清水高)

▽男子準々決勝

鶴 舞 14-8 清水

佐 原 27-8 雪解沢

八千代 11-10 柏

明 徳 13-5 我孫子

▽同準決勝

佐 原 9-5 鶴 舞

明 徳 6-1 八千代

▽同決勝

佐 原 12(7-5)9 明 徳

佐原高は6年ぶり12度目の優勝

▽女子準々決勝

昭和学院 14-2 鶴 舞

八千代 9-4 我孫子

明 徳 12-5 小金

▽同準決勝

佐原女 17-7 佐 原

昭和学院 13-1 八千代

佐原女 5-1 明 徳

▽同決勝

昭和学院 6(4-1)1 佐原女

昭和学院は9連勝

▽宮城県高校新人大会(11月・塩釜高)

▽男子準々決勝

仙台商 18(延)17 塩 釜

仙 台 11-8 仙台三

宮城水産 14-13 祇園寺

仙台育英 17-6 古川工

▽同準決勝

宮城水産 13-11 仙台商

仙台育英 11-8 仙 台

▽同決勝

仙台育英 9(6-5)8 宮城水産

▽女子準々決勝

宮城二女 5-2 古川商

宮城三女 7-6 一迫商

塩釜女 17-5 祇園寺

浦 谷 4-2 古川女

▽同準決勝

宮城二女 9-1 塩釜女

浦 谷 10-4 宮城三女

▽同決勝

浦 谷 6(4-2)3 宮城二女

▽広島・第22回県中学総体ハンドボール競技(10月・二河中)

▽女子準々決勝

広島修道 7-2 呉長浜

呉二河 11-4 深安神辺

▽同決勝

広島修道 11-5 呉二河

▽女子準決勝

深安加茂 18-0 福山鳳

▽大阪堺市・堺市総体ハンドボール競技(10月・浜寺中)

▽男子Aリーグ(決勝リーグ)

福泉南 9-4 浜 寺

福 泉 15-8 福泉南

福 泉 7-4 浜 寺

▽女子5・6位決定戦

福 泉 7-3 陵 西

▽同3・4位決定戦

浜 寺 B 9-3 陵 南

▽同決勝

浜 寺 7(6-1)4 福泉南

▽佐賀・第26回県民体育大会ハンドボール競技(10月・佐賀東高)

▽男子1回戦(2試合)

神 崎 B 19-2 白石 B

有 田 11-2 白 石

▽同準決勝

成 章 9-6 神崎 B

神 崎 21-7 有 田

▽同決勝

神 崎 16(8-1)1 成 章

▽女子1回戦(1試合)

有 田 21-1 神崎 B

▽同決勝

神 崎 10(5-2)6 有 田

★編集後記

▽……サトウ・ハチローさんが亡くなられ、大あわてで資料をさがしましたが、氏が日本協会の理事長をつとめられたという記録は、協会には一片もありませんでした。やっと探しあてた、公式記録は、「朝日運動年鑑昭和23年版26頁」。

▽……以前から日本ハンドボール史の発掘をしておかなくてはと、外山権二(東京協会副会長)、的場益雄(全日本教職員連副会長)両先輩や藤本前編集長と話していたのですが、本格的に始めないと、これから先、つねに醜態をさらけだすことになってしまおうでしょう。

▽……全日本女子が旅立ちました。7人の連続出場組の余祐と初参加5人の緊張。いいチームだと思えます。出発の夜の羽田は女子実業団の各チームが見送りに集まり、賑やかこの上なく、不遇(?)の女子に、再び活気が甦った印象を強めました。前哨戦もまずまずのようです。本番での朗報を待ちたいものです。

▽……正月は慣例により休刊、次号は2月1日発行です。今年最後のお願い——本誌への寄稿(記録以外)は必ずタテ書きにして下さい。(杉)

国体、競技力向上の場に

レベルの低い一般クラブ

国体を普及の場に、あるいは底辺の場にといった論調が多くなってきたようだが、私は反対だ。日本協会は、なにをおいてもそのレベルアップに努めるべきであり、その主催、共催する大会はすべて競技力を向上させることにならなくてはいけない。底辺のために、国体を衣替えするなら、天皇杯、皇后杯争いをまず磨めてからにすべきである。

強い実業団が居るためクラブの道が開きされるなどは考えが甘すぎよう。かく云う小生は、クラブの一員だが、国体の一般男女の最近のレベルダウンはひどすぎると

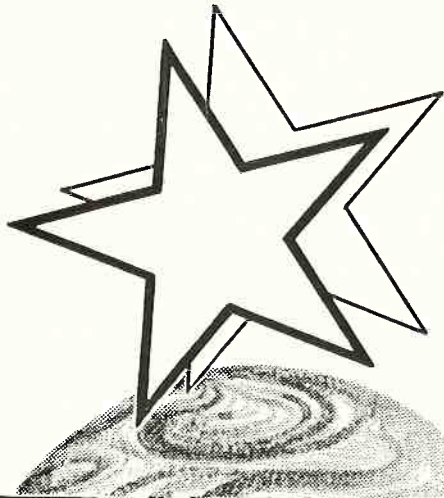
投書欄 明日への提言

思う。(わざわざ佐原市まで出かけてみての実感) 数年前までの桜丘会や、現在でも水見ク、AOR栃木、三春台ク、大阪イーグルス、スワロ一兵庫、清商クなどうらやましいようなクラブもあるが実業団

中学大会記録

のせりあいがあったこそ、はじめて地元の人たちにハンドボールの真すいを見せることができ状態ではないか。日曜や祭日に、それも月せいぜい1回程度集るチームの全国大会など必要はない。国体は、旅費なども公共体から出るのだし、台所の苦しい日本協会はせい一杯、トップレベルの向上に利用すべし。クラブの生き甲斐のためにはサッカーの全日本選手権オープン化程度の施策で結構である。【東京・大門 亘・31歳】

明日を創る



特殊鋼づくりをはじめ、工業炉から
省力・公害防止装置まで、鉄鋼・非鉄
各種生産ラインのシステムをつくる
企業、それが大同製鋼です。

★ **大同製鋼**

取締役社長 武田 喜三

本社 社：名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)
支店：東京・大阪・福岡・札幌・広島
営業所



一流選手の目じるし 栄光の《オニツカライン®》



栄光の手感は《タイガー®》を履いたときから。

Onitsuka
Tiger

世界選手権大会でも大活躍した精鋭マシン

タイガー®ハンドボール革

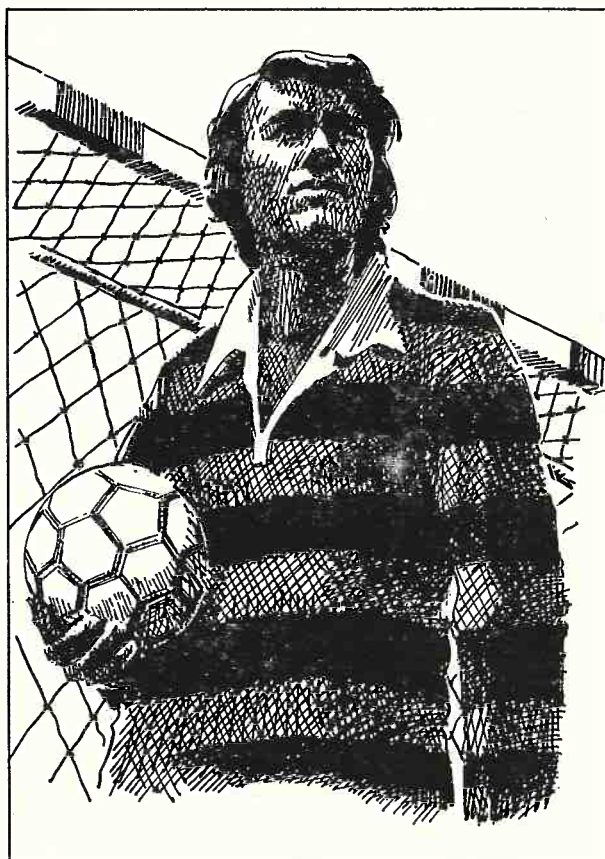
カンガルー皮に白パール加工の最高級甲皮使用。/ 22.5~27.5 ¥6,300

競技専用シューズの総合メーカー **オニツカ株式会社** 神戸・大阪・東京・福岡・名古屋・札幌

信頼・技術・情熱

スポーツマンと同じ道をブラザーは歩みます。

ミシン・編機・家庭電化製品・楽器・事務機・工作機……姿・形はちがっても、ブラザー製品の支えはひとつです。信頼される品質を作るすぐれた技術、製品にかけた情熱……スポーツマンと同じ道です。



BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第一一五号

昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可

昭和四十八年十一月二十五日印刷 発行所
昭和四十八年十二月一日発行 日本ハンドボール協会

東京都渋谷区神南一丁目
電話 大代表(局)三三二二
振替東京五八三四八番

編集兼
発行人

保坂周助

定価二百円
年間購読料
千八百円